

「ほのぼの」シリーズ

「ほのぼの」シリーズ 基幹業務

インストール手順書



 NDソフトウェア株式会社

目次

1.	はじめに.....	3
2.	インストール形式.....	7
3.	インストール全体の流れ.....	8
4.	SQL Anywhere 11のインストール.....	9
5.	スタンドアロン版、サーバー版、ピアツーピアサーバー版のインストール.....	12
6.	クライアント版（ピアツーピア含む）のインストール.....	20
7.	ネットワークセグメントを越えてデータベースにアクセスする場合.....	24
8.	リモートデスクトップサーバーへのインストール.....	26
9.	Adobe Readerのインストール.....	35
10.	ライセンスキーの設定.....	37
11.	NDSダウンローダーの設定.....	39
12.	アンインストール.....	40
13.	財務会計システムをインストールする場合の補足.....	43

1. はじめに

この資料では、「ほのぼの」シリーズ 基幹業務」（以下、本システム）のインストールを行う手順について説明します。インストールの際は、本書をご確認いただいた上で作業を行ってください。

インストール媒体について

本システムは、次のインストール媒体（DVD）で提供されます。

種類	説明
導入ディスク	本システムで使用するデータベース「SQL Anywhere 11」をインストールするために使用します。
インストールディスク	本システムのアプリケーションをインストールするために使用します。

インストール前の注意

インストールを実行する前に次の内容をあらかじめご確認ください。

- ◇ 常駐ソフトウェアを含む他のすべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- ◇ インストールは管理者権限を持つユーザで実行してください。
- ◇ SQL Anywhere 11 が既にインストールされているパソコンでは、既存のシステムに影響を及ぼす可能性があります。
- ◇ ディスクの空き容量が 10GB 以上必要です。
- ◇ Adaptive Server Anywhere 7 (以下 ASA7) のデータベースサーバーが実行されている環境にて、本導入ディスクのインストールを実行した場合、ASA7 のデータベースが停止いたします。あらかじめ、ASA7 を使用したシステムでの作業を中断しておいてください。

● 初めてインストールする場合

本システムをインストールするためには、SQL Anywhere 11 をインストールしておく必要があります。（インストール方法は「[4. SQL Anywhere 11のインストール](#)（p. 9）」を参照してください）

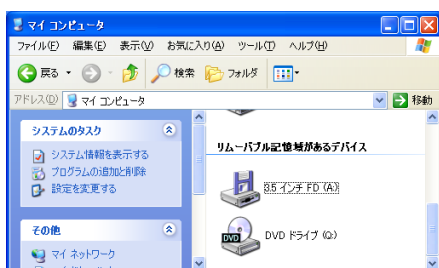
インストールメニューの起動方法

インストールメニューはインストールディスクを DVD-ROM ドライブに挿入すると自動的に起動します。

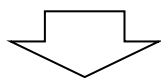
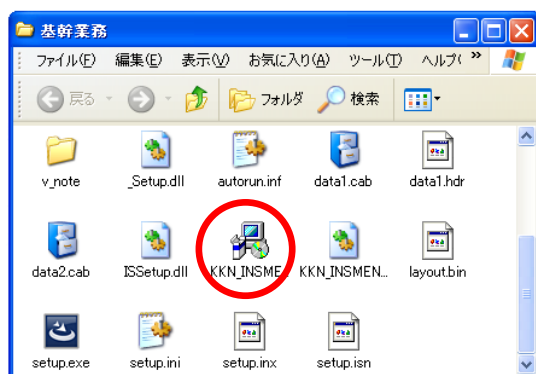
● 自動的に起動しない場合

DVD-ROM ドライブにインストールディスクを挿入しても、インストーラーが起動しない場合は、次の手順でインストーラーを起動してください。

- 1) マイコンピュータを開き、DVD-ROM ドライブをダブルクリックします。



- 2) KKN_INSMENU. exe をダブルクリックすると、インストールメニューが起動します。

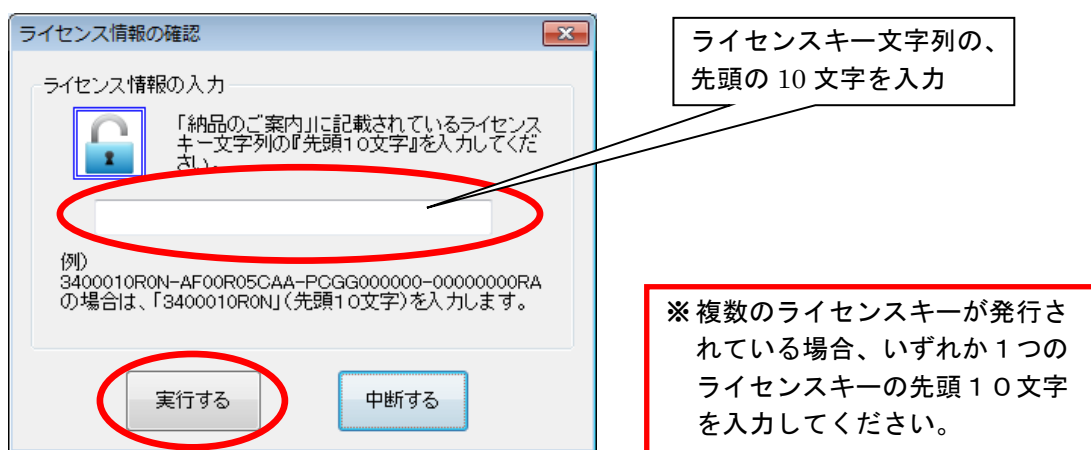


ライセンス情報確認画面について

アプリケーションのインストール開始時にライセンス情報確認画面が表示される場合があります。

この画面が表示された場合は、下図で示した入力欄に納品のご案内に記載されているライセンスキーの先頭10文字を入力して、**実行する** ボタンをクリックすることにより次の画面に進みます。

既に入力済みの場合は、登録済みの情報が入力欄に表示されるので文字列に誤りが無いか確認し、**実行する** ボタンをクリックすることにより次の画面に進みます。



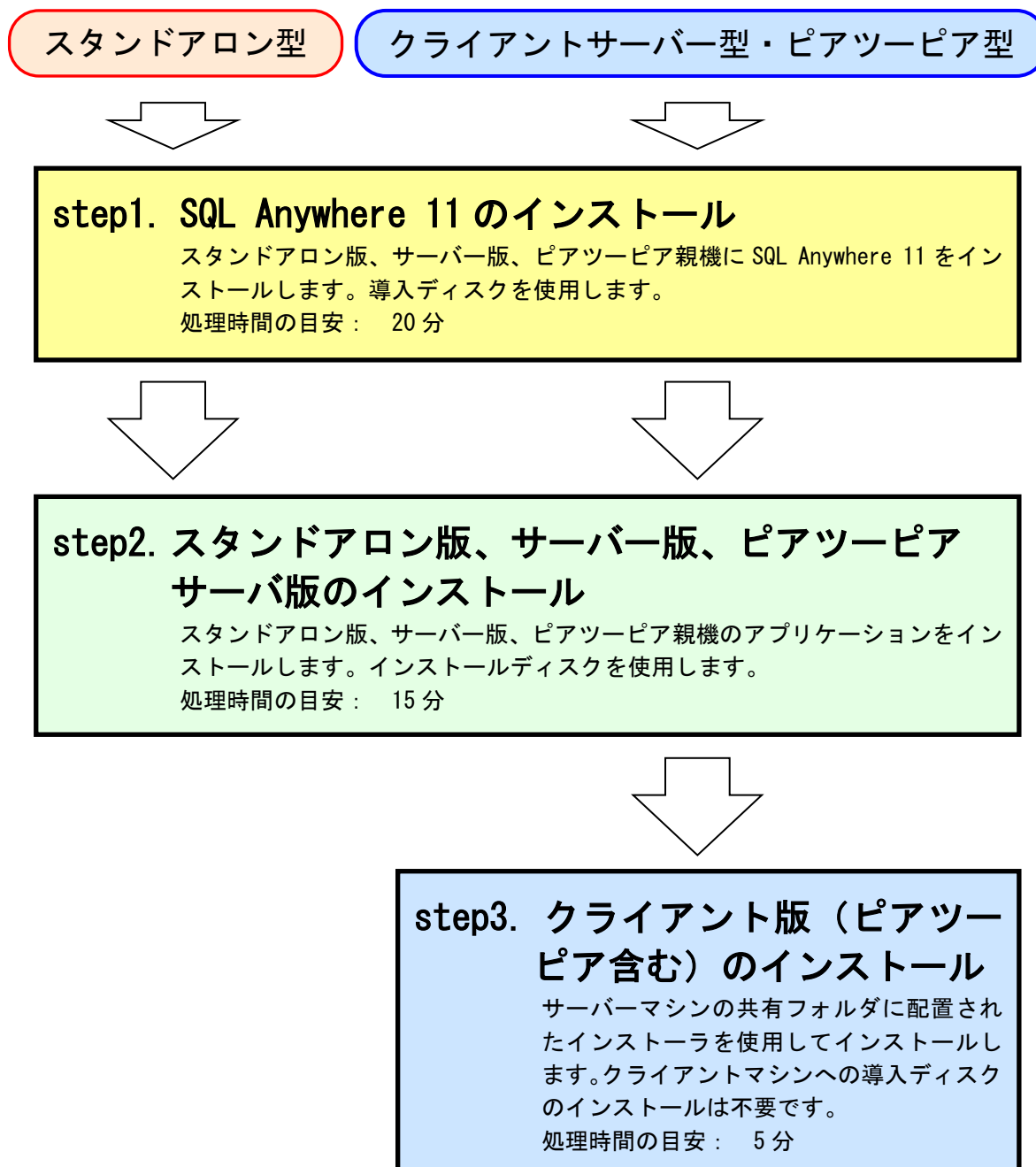
2. インストール形式

本システムは、次のインストール形式でインストールすることができます。
ご利用の環境に沿ってインストールの形式をご選択ください。

種類	説明
スタンドアロン	本システムを1台のマシンで利用する場合のインストール形式となります。
ピアツーピア型（親機）、 クラサバ型（サーバー）	本システムを複数台のマシンで利用する場合のインストール形式となります。複数台で利用する場合は、データベースを保管する親機を必ず1台用意する必要があります。 サーバーインストールを実行することで、親機としての動作環境を構築することができます。
ピアツーピア型（子機） クラサバ型（クライアント）	本システムを複数台のマシンで利用する場合のインストール形式となります。複数台で利用する場合は、親機となる1台以外は全て子機（クライアント）としてインストールする必要があります。 クライアントインストールを実行することで、子機としての動作環境を構築することができます。 あらかじめ親機がインストールされている必要があります。
リモートデスクトップサービス	リモートデスクトップサービスを利用して、複数台のクライアントでアプリケーションを実行します。 データベースを保管するマシンと同じマシンにリモートデスクトップサービスを共存させるか、データベースを保管するマシンとは別に、リモートデスクトップサービスを実行するサーバーマシンを用意しアプリケーションのみをインストールすることができます。

3. インストール全体の流れ

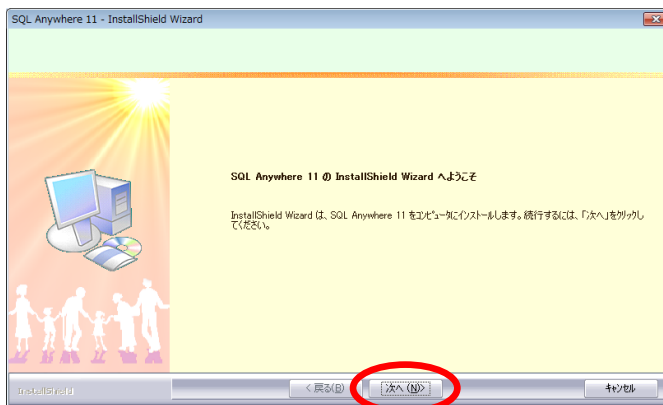
本システムのインストールは、大きく次の手順になります。



4. SQL Anywhere 11 のインストール

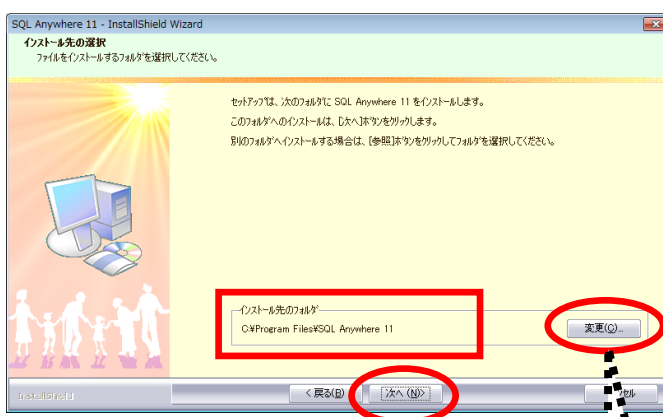
本システムをインストールするためには、SQL Anywhere 11 をインストールする必要があります。（クライアント、ピアツーピア子機にはインストール不要です）
「導入ディスク」を使用して、次の手順でインストールを行ってください。

- 1) インストーラーを起動します。
導入ディスクを DVD-ROM に挿入するとライセンス情報確認画面が表示されます。
ライセンス情報を入力後、ウェルカム画面が表示されますので、**次へ** ボタンをクリックします。



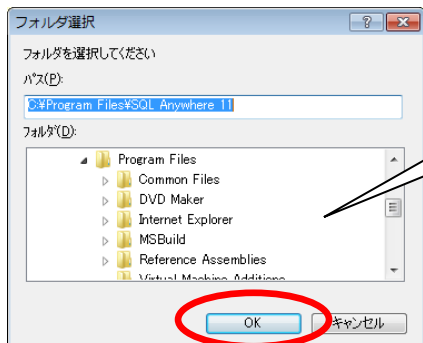
※ 画面が自動的に起動しない場合は、DVD-ROM ドライブを開き「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

- 2) 必要に応じてインストール先を設定します。
インストール先を変更する場合は、**変更** ボタンをクリックしてフォルダを選択します。
インストール先を確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



次頁枠囲み参照

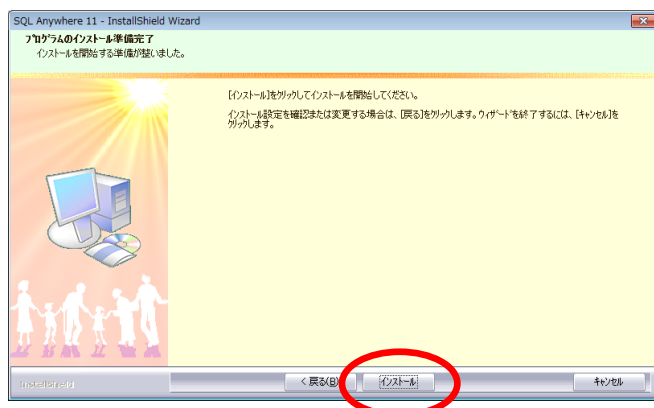
変更 をクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。
インストール先のフォルダを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
選択後は前画面に戻ります。



インストールしたい
フォルダを選択

※ 選択したフォルダの名称が「SQL Anywhere 11」でない場合、自動的に選択したフォルダの中に「SQL Anywhere 11」フォルダが作成されます。

- 3) インストール準備完了画面で **インストール** ボタンをクリックし、インストールを開始します。



※ インストールが開始されると、この画面に戻ることができなくなりますのでご注意ください。

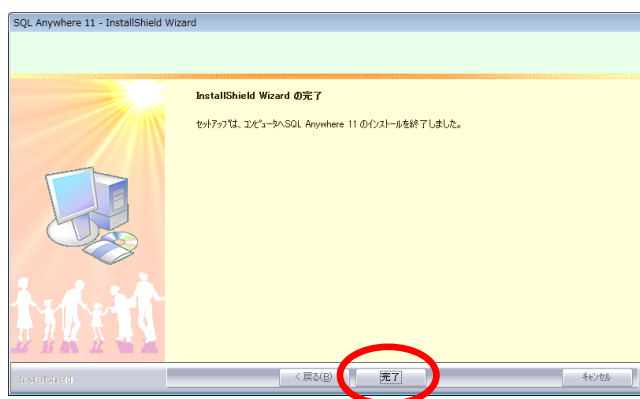
- 4) インストール実行中の画面が表示されます。インストール実行中は自動的に処理が行われますので、しばらくお待ちください。



※ 導入するマシンによりませんが、インストール完了まで15分程度かかる場合があります。

- 5) インストール処理が完了するとインストール完了画面が表示されます。

完了 をクリックし、インストール作業を終了します。



以上で、SQL Anywhere 11 のインストールは完了です。引き続き、後述のインストール手順についてご確認ください。

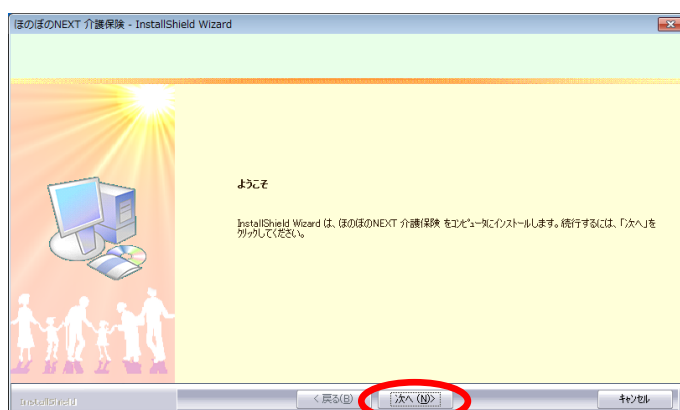
5. スタンドアロン版、サーバー版、 ピアツーピアサーバー版のインストール

スタンドアロン、クライアントサーバー型のサーバー機、ピアツーピアのサーバー機へのインストールは、以下の手順で行います。尚、あらかじめ導入ディスクで「SQL Anywhere 11」のインストールを済ませておいてください。

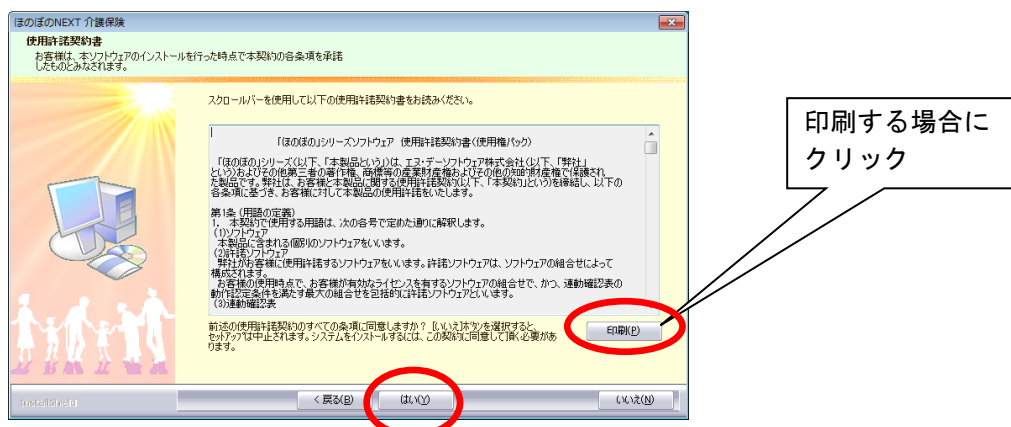
- 1) インストールディスクを DVD-ROM に挿入すると、インストールメニューが表示されますので、「ほのぼの」シリーズインストールをクリックします。



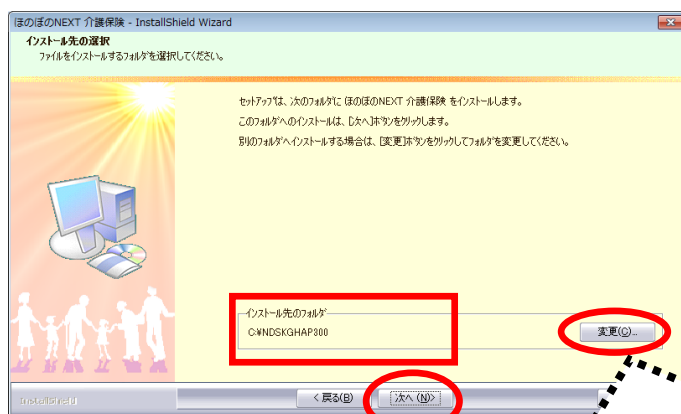
- 2) ライセンス情報を入力後、ウェルカム画面が表示されますので、**次へ** ボタンをクリックします。



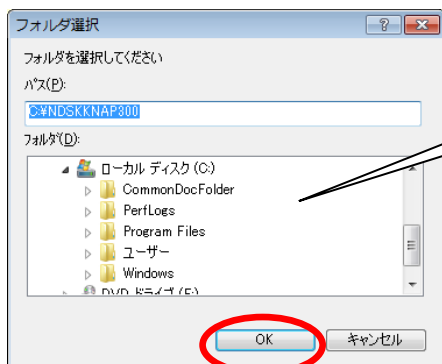
- 3) 使用許諾契約書を確認します。
 内容に同意いただけた場合は **はい** ボタンをクリックします。尚、使用許諾契約書の内容を印刷しておきたい場合は **印刷** ボタンをクリックして印刷を行うこともできます。¹



- 4) 必要に応じてインストール先を設定します。
 インストール先を変更する場合は、**変更** ボタンをクリックしてフォルダを選択します。インストール先を確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



変更 をクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。
 インストール先のフォルダを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
 選択後は前画面に戻ります。

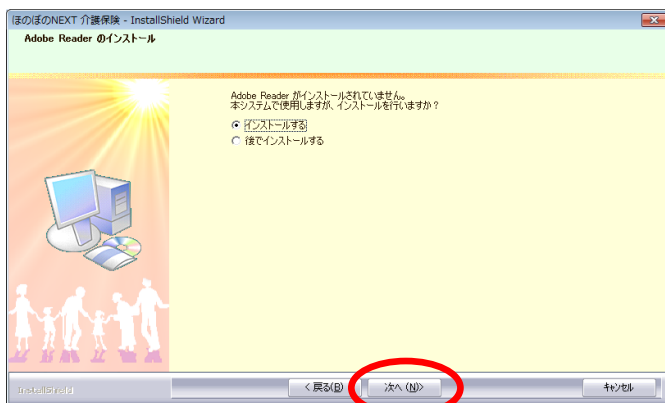


インストールしたい
フォルダを選択

※ 選択したフォルダが「NDSKKNAP300」フォルダでない場合、自動的に選択したフォルダ配下に「NDSKKNAP300」フォルダが作成されます。

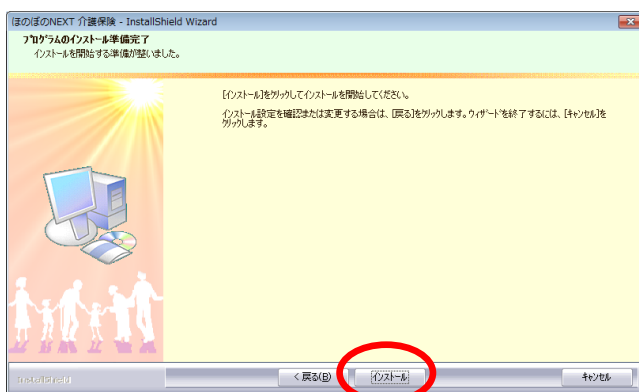
¹ プリンターなどの環境が別途必要となります。

- 5) Adobe Reader をインストールするか選択します。
「インストールする」または「後でインストールする」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



※ Adobe Reader がインストール済みの環境では、この画面は表示されません。

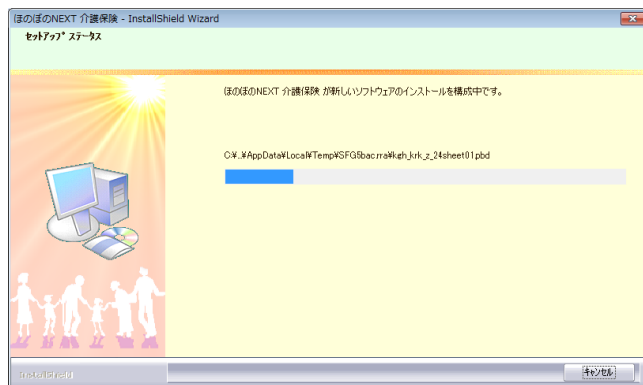
- 6) インストール準備完了画面で **インストール** ボタンをクリックし、インストールを開始します。



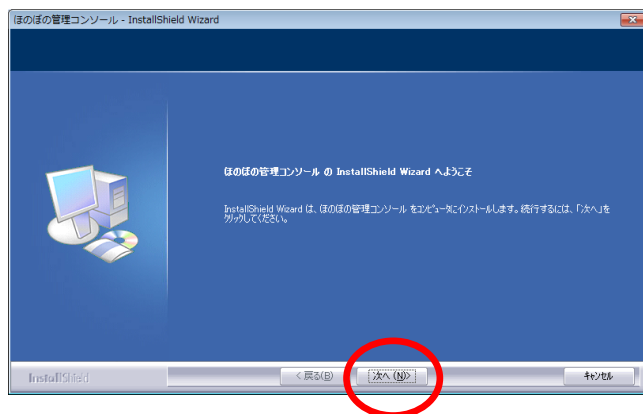
※ インストールが開始されると、この画面に戻ることができなくなりますのでご注意ください。

- 7) インストール実行中の画面が表示されます。インストール実行中は自動的に処理が行われますので、しばらくお待ちください。

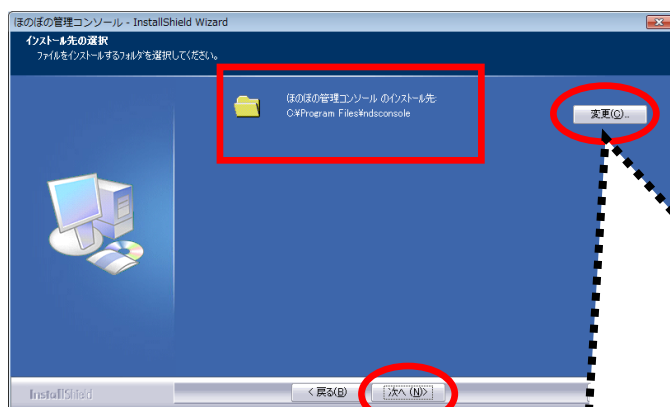
※Adobe Reader インストール確認画面で「インストールする」を選択した場合、この途中に Adobe Reader のインストールプログラムが実行されます。操作方法是「[9. Adobe Reader のインストール](#) (p. 35)」をご参照ください。



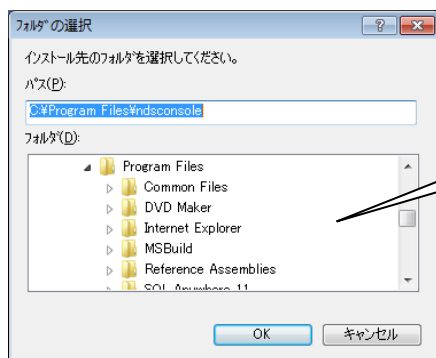
- 8) ほのぼの管理コンソールのインストールを行います。ウェルカム画面が表示されます。**次へ** ボタンをクリックします。



- 9) 必要に応じてインストール先を設定します。
インストール先を変更する場合は、**変更** ボタンをクリックしてフォルダを選択します。
インストール先を確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



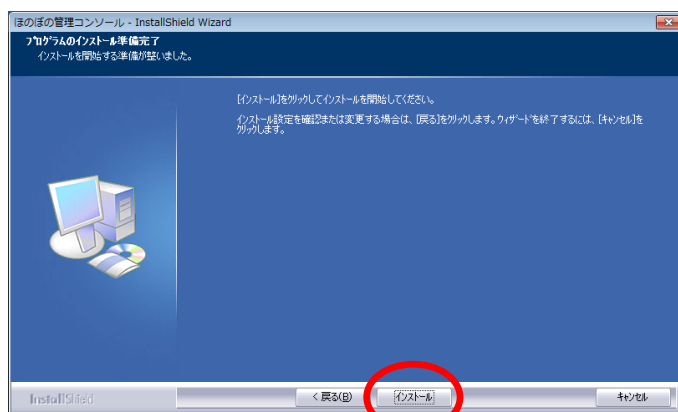
変更 をクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。
インストール先のフォルダを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
変更後は前画面に戻ります。



インストールしたい
フォルダを選択

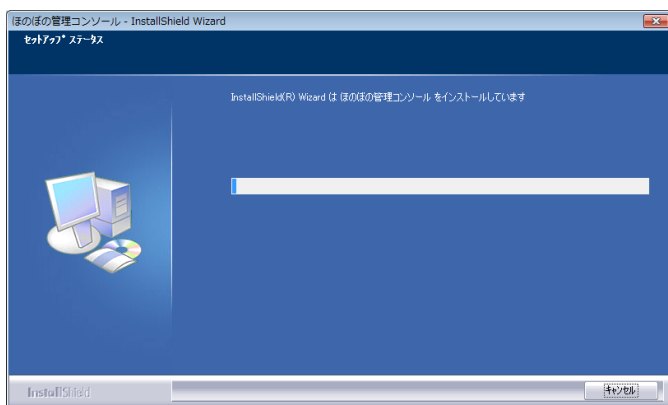
※ 選択したフォルダの名称が「ndsconsole」でない場合、自動的に選択したフォルダの中に「ndsconsole」フォルダが作成されます。

- 10) インストール準備完了画面で、**インストール** ボタンをクリックし、インストールを開始します。

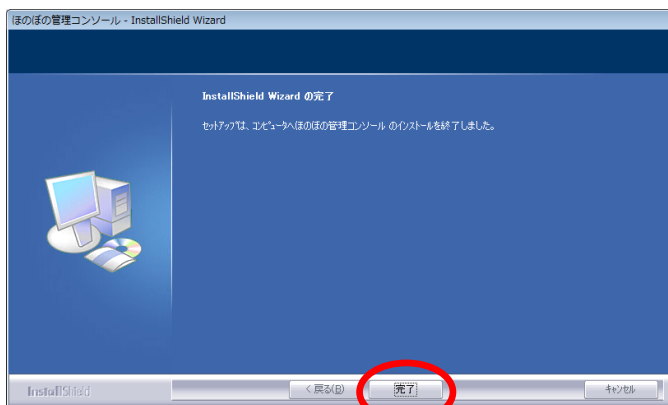


※ インストールが開始されると、この画面に戻ることができなくなりますのでご注意ください。

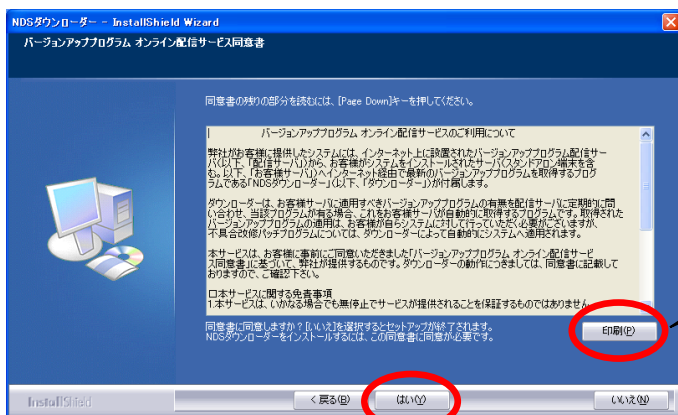
- 11) インストール実行中の画面が表示されます。インストール実行中は自動的に処理が行われますので、しばらくお待ちください。



- 12) インストール処理が完了するとインストール完了画面が表示されます。
完了 をクリックし、ほのぼの管理コンソールのインストール作業を終了します。



- 13) ダウンローダーのインストールを行います。同意書を確認いただき同意いただける場合は、**はい** ボタンをクリックします。

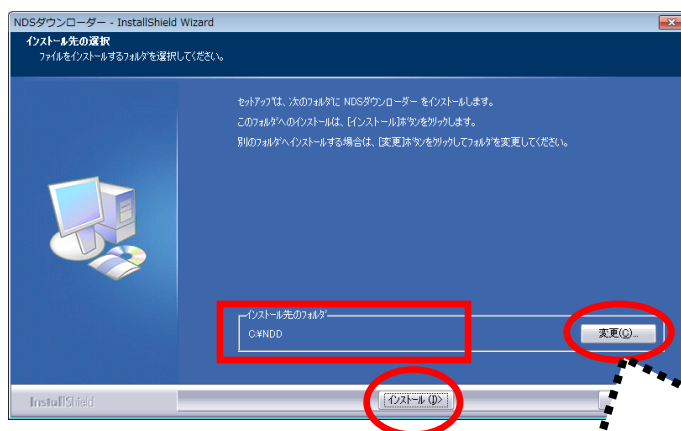


印刷する場合に
クリック

14) 必要に応じてインストール先を設定します。

インストール先を変更する場合は、**変更** ボタンをクリックしてフォルダを選択します。

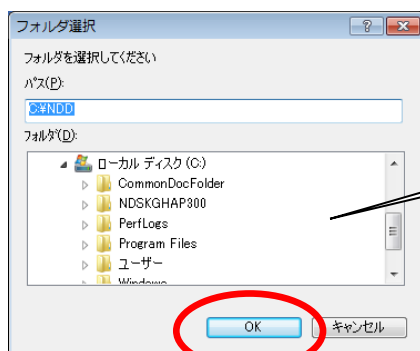
インストール先を確認し、**インストール** ボタンをクリックします。



変更 をクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。

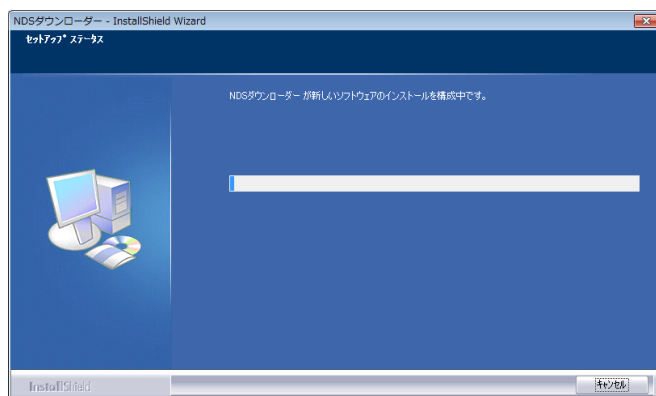
インストール先のフォルダを選択し、**OK** ボタンをクリックします。

変更後は前画面に戻ります。



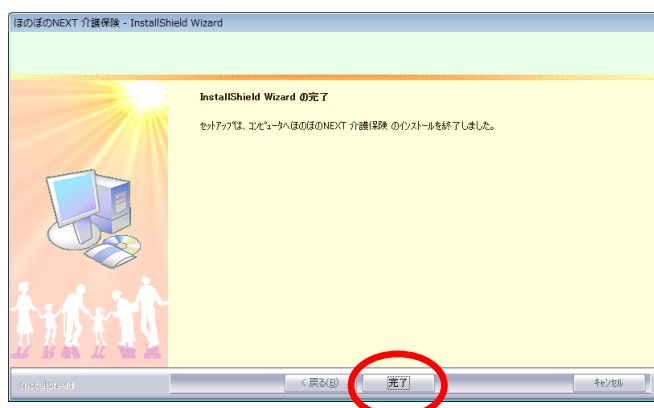
インストールしたい
フォルダを選択

15) インストール実行中の画面が表示されます。インストール実行中は自動的に処理が行われますので、しばらくお待ちください。



16) インストール処理が完了するとインストール完了画面が表示されます。

完了 をクリックしてください。



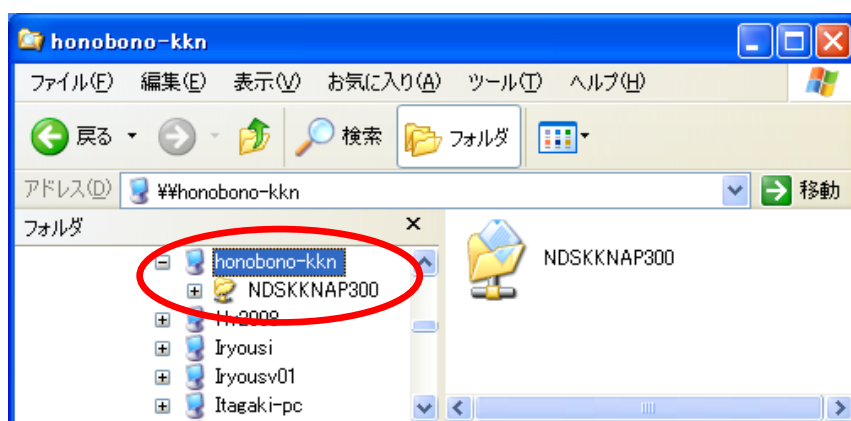
以上で、インストールは完了しました。

- ※ インストール操作後は、必ずパソコンを再起動してください。
- ※ アプリケーションを起動する前に「10. ライセンスキーの設定 (p. 37) 」、 「11. NDS ダウンローダーの設定 (p. 39) 」を行ってください。

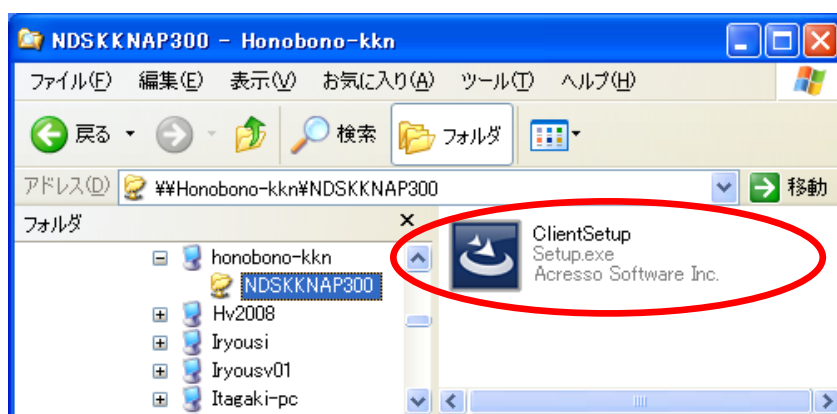
6. クライアント版（ピアツーピア含む）のインストール

クライアントサーバー型のクライアント機、ピアツーピア型のクライアント機へのアプリケーションのインストールは、サーバー機のインストール時に用意されたクライアント用インストーラーをクライアント機から実行することにより行います。あらかじめサーバー機へのアプリケーションのインストールを済ませておいてください。

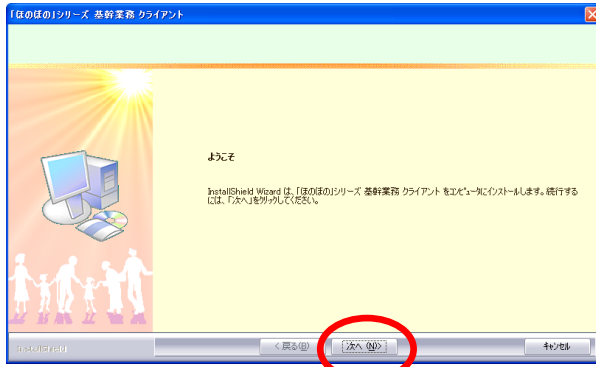
- 1) クライアントマシンでエクスプローラを開きます。「マイネットワーク」からコンピュータの一覧を参照し、アプリケーションのインストールを済ませたサーバーマシンを選択してください。



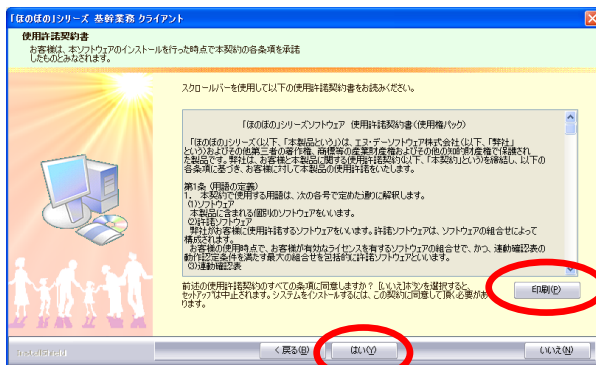
- 2) サーバーマシンの共有フォルダ「NDSKKNAP300」にある、“ClientSetup.exe”をダブルクリックして実行してください。



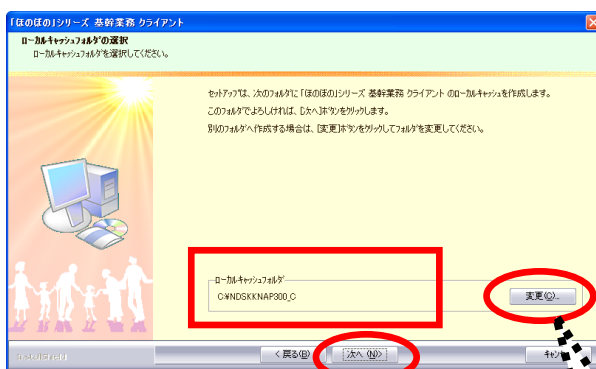
- 3) ウェルカム画面が表示されます。 **次へ** ボタンをクリックします。



- 4) 使用許諾契約書を確認します。
内容に同意いただけた場合に **はい** ボタンをクリックします。尚、使用許諾契約書の内容を印刷しておきたい場合は **印刷** ボタンをクリックして印刷を行うこともできます。¹



- 5) ローカルキャッシュフォルダを必要に応じて設定します。
フォルダを変更する場合は、**変更** ボタンをクリックしてフォルダを選択します。
フォルダを確認し、**次へ** ボタンをクリックします。

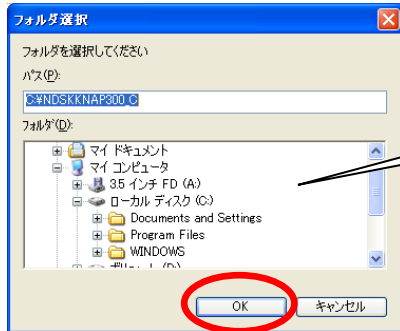


¹ プリンターなどの環境が別途必要となります。

変更 をクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。

インストール先のフォルダを選択し、**OK** ボタンをクリックします。

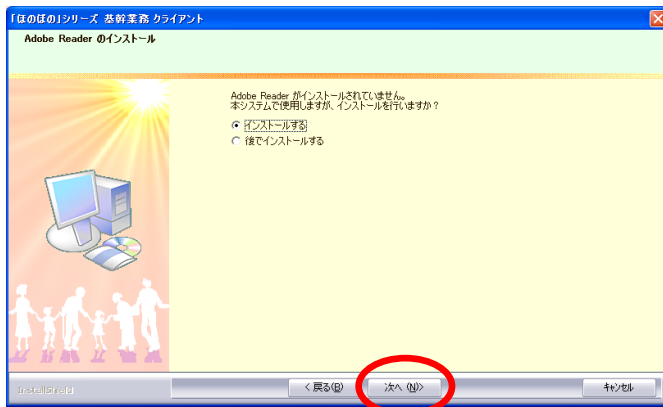
変更後は前画面に戻ります。



インストールしたい
フォルダを選択

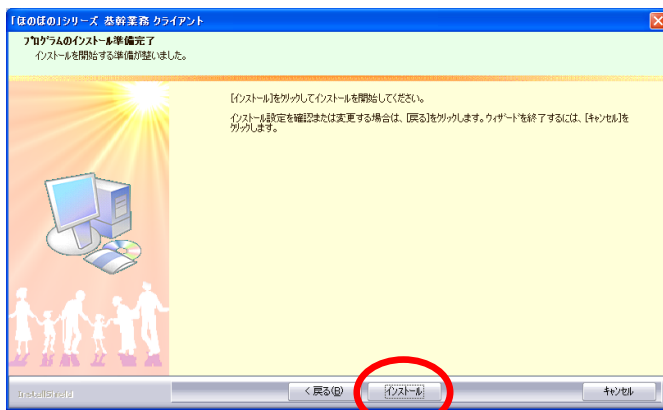
※ 選択したフォルダが「NDSKKNAP300_C」フォルダ
でない場合、自動的に選択したフォルダ配下に
「NDSKKNAP300_C」フォルダが作成されます。

- 6) Adobe Reader をインストールするか選択します。
「インストールする」または「後でインストールする」を選択し、**次へ** ボタン
をクリックします。



※ Adobe Reader がインストール
済みの環境では、この画面は
表示されません。

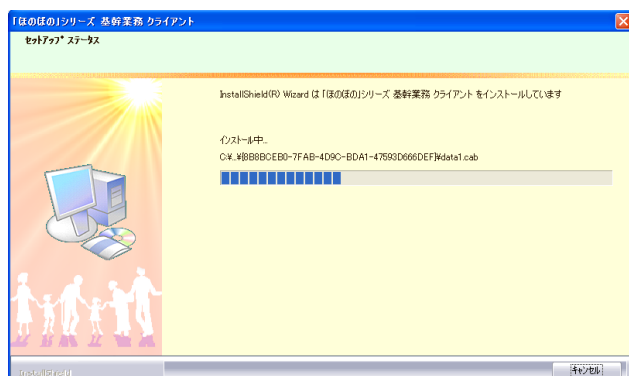
- 7) インストール準備完了画面で **インストール** ボタンをクリックし、インストー
ルを開始します。



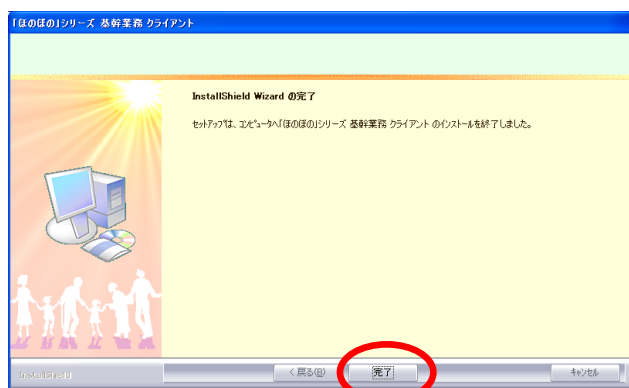
※ インストールが開始される
と、この画面に戻ることがで
きなくなりますのでご注意く
ださい。

- 8) インストール実行中の画面が表示されます。インストール実行中は自動的に処理が行われますので、しばらくお待ちください。

※Adobe Reader インストール確認画面で「インストールする」を選択した場合、この途中に Adobe Reader のインストールプログラムが実行されます。操作方法は「[9. Adobe Reader のインストール](#) (p. 35)」をご参照ください。



- 9) インストール処理が完了するとインストール完了画面が表示されます。**完了** をクリックし、インストール作業を終了します。



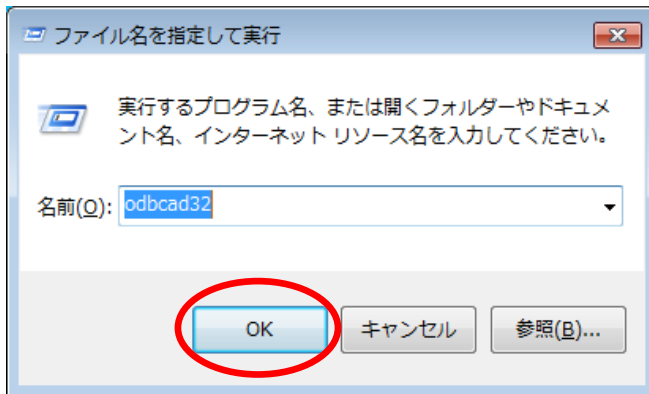
以上で、クライアントアプリケーションのインストールは完了しました。

※ インストール操作後は、必ずパソコンを再起動してください。

7. ネットワークセグメントを越えてデータベースにアクセスする場合

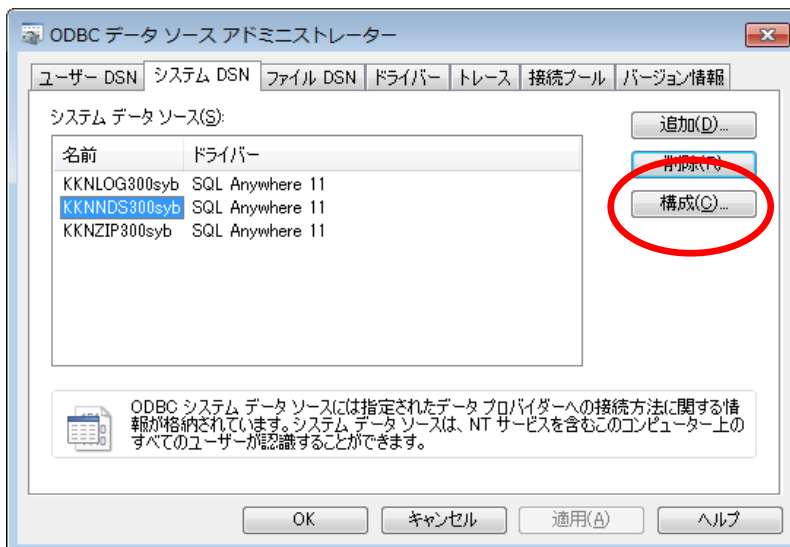
クライアントアプリケーションとデータベースサーバーが、異なるセグメントに配置されている環境でデータベースにアクセスする場合は、クライアント側のデータベース接続の設定に追加情報を入力する必要があります。

- 1) スタートメニューのファイル名を指定して実行を選択します。
“odbcad32”と入力し、**OK** ボタンをクリックします。

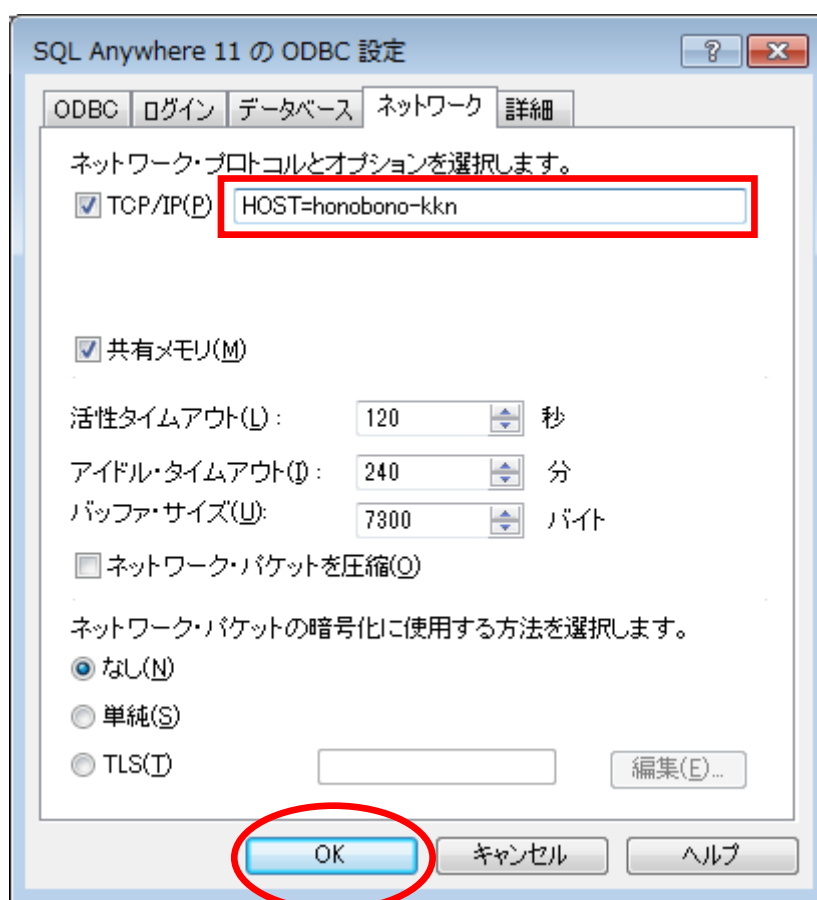


※ 64 ビット OS の環境では、上記の方法では正しいプログラムが起動できません。
Windows ディレクトリの SysWOW64\odbcad32.exe を実行してください。

- 2) システム DSN タブにある「KKNNDS300syb」を開きます（ダブルクリックまたは右側の **構成** ボタンをクリック）



- 3) ネットワークタブを選択し、TCP/IP の右側の入力欄に“HOST=サーバー名”を入力し、**OK** ボタンをクリックします。

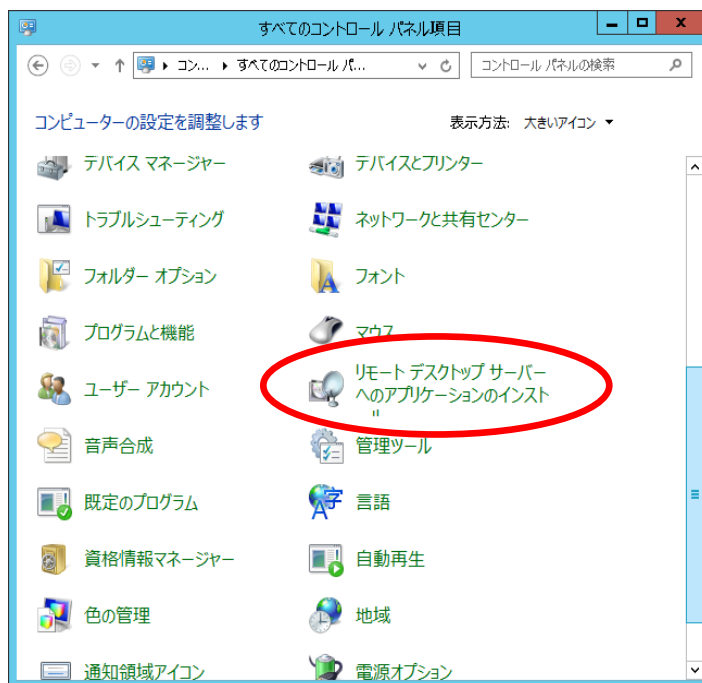


KKNLOG300syb、KKNZIP300syb にも同じ設定を行います。

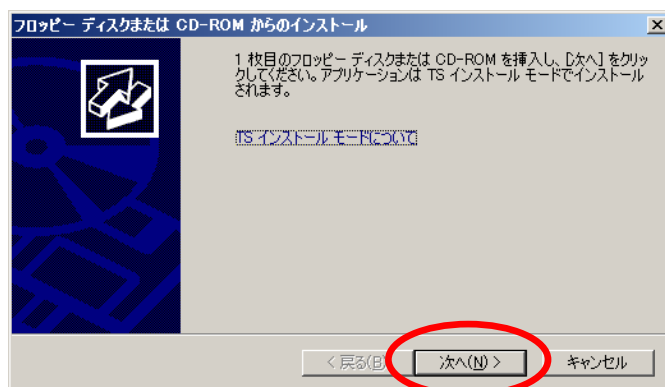
8. リモートデスクトップサーバーへのインストール

リモートデスクトップサーバーへアプリケーションをインストールする場合は、以下の手順で作業を行います。あらかじめリモートデスクトップサービスのセットアップ、SQL Anywhere 11 のインストールは行っているものとします。また、データベースを共存しない場合は、あらかじめデータベースをインストールした別のサーバーマシンを準備してから作業を開始してください。

- 1) コントロールパネルを開き、「リモートデスクトップサーバーへのアプリケーションのインストール」をダブルクリックして実行します。

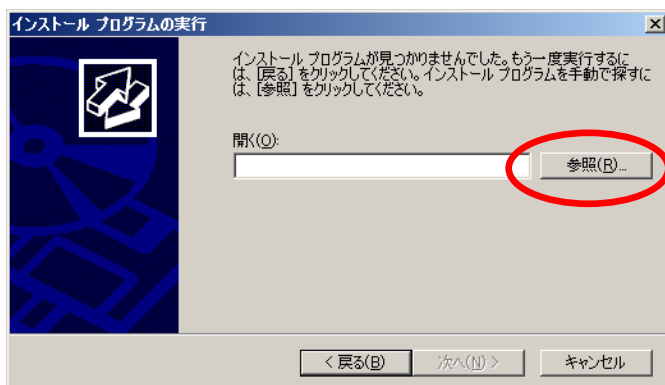


- 2) インストール開始画面が表示されます。**次へ** ボタンをクリックします。

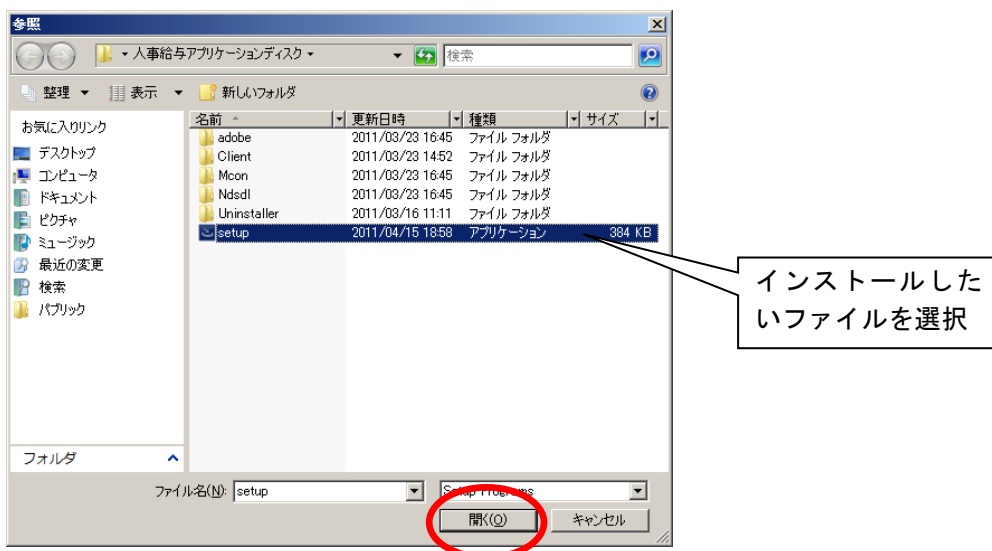


- 3) インストールプログラムの実行画面が表示されます。

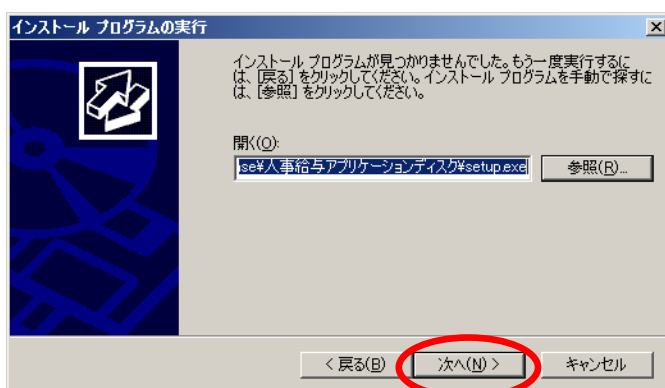
参照 ボタンをクリックして、インストールするセットアッププログラムファイル(setup.exe)を指定します。



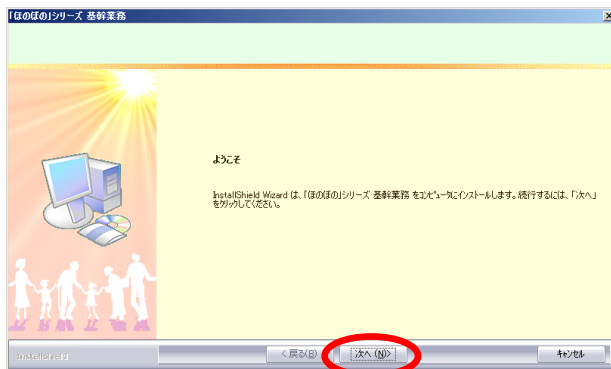
- 4) **参照** ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。インストールするセットアッププログラムを選択し、**開く** ボタンをクリックします。



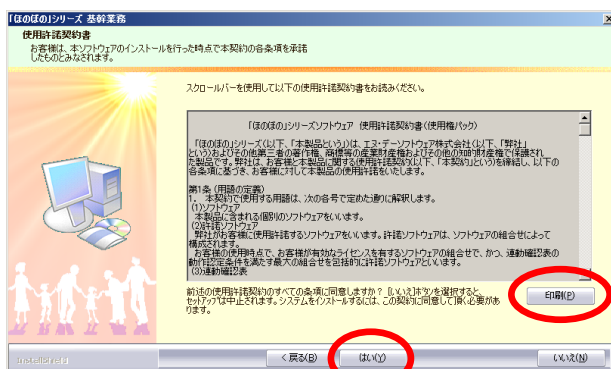
- 5) セットアッププログラムを選択したら、**次へ** ボタンをクリックします。



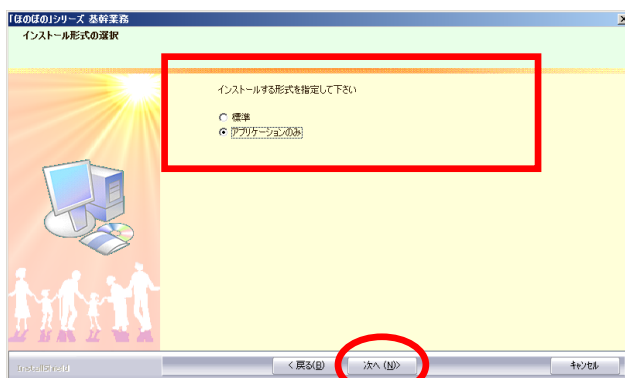
- 6) ライセンス情報確認画面が表示されます。ライセンス情報を入力後、ウェルカム画面が表示されますので、**次へ** ボタンをクリックします。



- 7) 使用許諾契約書を確認します。画面が表示されたら、必ず使用許諾契約内容をご確認のうえ、内容に同意いただけた場合に**はい** ボタンをクリックし続行します。尚、使用許諾契約書の内容を印刷しておきたい場合は**印刷** ボタンをクリックして印刷を行うこともできます。¹



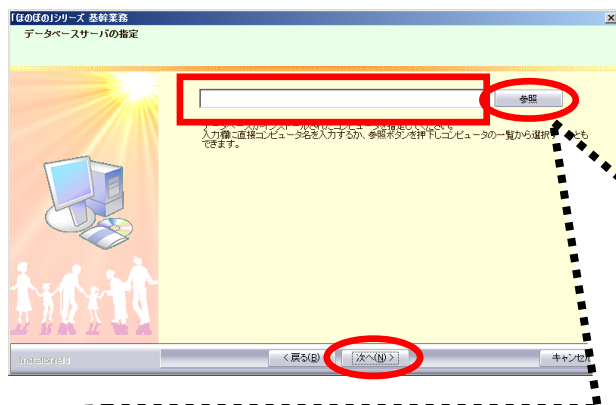
- 8) インストール形式選択画面が表示されます。データベースを共存させたい場合は「標準」を、データベースを別のサーバーマシンにセットアップした場合は「アプリケーションのみ」を選択し、**次へ** ボタンをクリックし続行します。



『標準』を選択した場合は、10)へ進みます。

¹ プリンターなどの環境が別途必要となります。

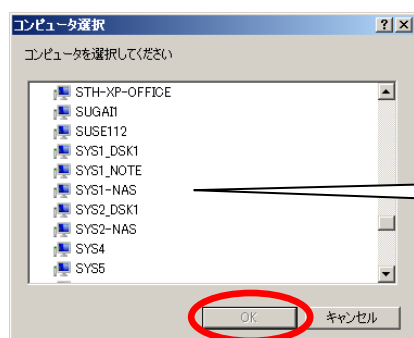
- 9) データベースがインストールされたサーバーマシンを指定します。
 直接入力欄にコンピュータ名を入力した場合は、**次へ** ボタンをクリックします。
 一覧から選択する場合は、**参照** ボタンをクリックします。



参照 をクリックすると、コンピュータの一覧画面が表示されます。

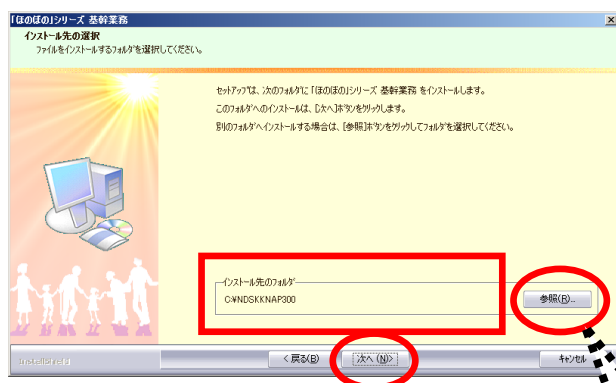
データベースがインストールされたサーバーマシンを一覧から選択し、**OK** ボタンをクリックします。

選択後は前画面に戻ります。



データベースがインストール
されたサーバーマシンを選択

- 10) 必要に応じてインストール先を設定します。
 インストール先を変更する場合は、**変更** ボタンをクリックしてフォルダを選択
 します。
 インストール先を確認し、**次へ** ボタンをクリックします。

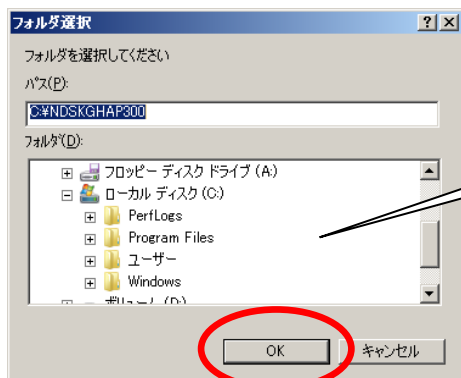


次頁枠囲み参照

変更 をクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。

インストール先のフォルダを選択し、**OK** ボタンをクリックします。

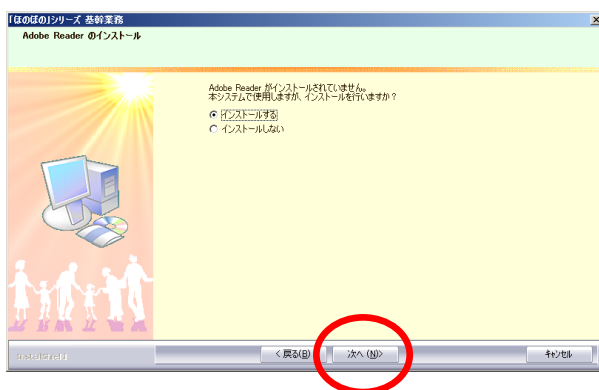
変更後は前画面に戻ります。



インストールしたい
フォルダを選択

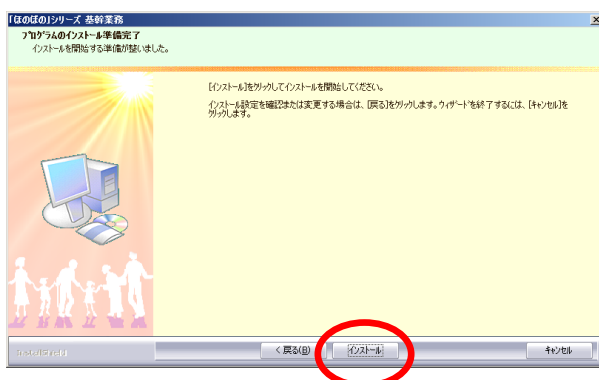
※ 選択したフォルダが
「NDSKKNAP300」フォルダでない
場合、自動的に選択したフォル
ダ配下に「NDSKKNAP300」フォル
ダが作成されます。

- 11) Adobe Reader インストール確認画面が表示されたら、「インストールする」または「後でインストールする」を選択し、**次へ** ボタンをクリックし続行します。



※ Adobe Reader がインストール
済みの環境では、この画面は
表示されません。

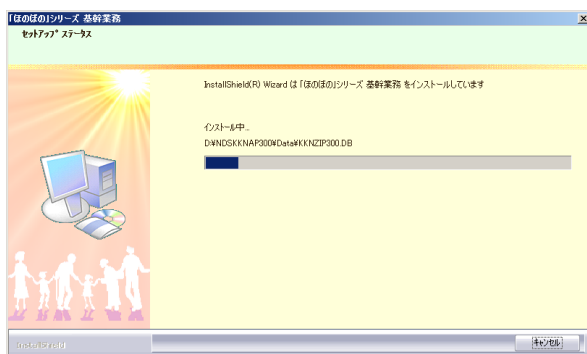
- 12) インストール準備完了画面で、**インストール** ボタンをクリックし、インストールを開始します。



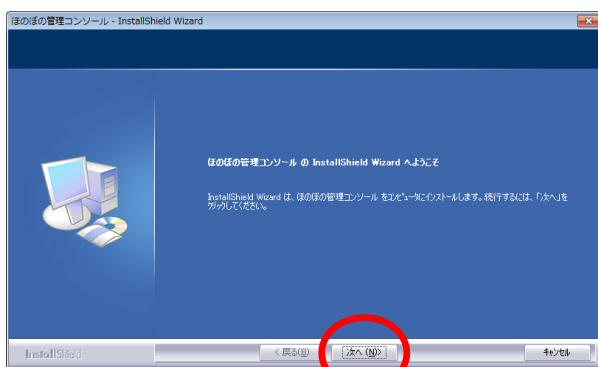
※ インストールが開始される
と、この画面に戻ることがで
きなくなりますのでご注意
ください。

- 13) インストール実行中の画面が表示されます。インストール実行中は自動的に処理が行われますので、しばらくお待ちください。

※Adobe Reader インストール確認画面で「インストールする」を選択した場合、この途中に Adobe Reader のインストールプログラムが実行されます。操作方法は「[9. Adobe Reader のインストール](#) (p. 35)」をご参照ください。

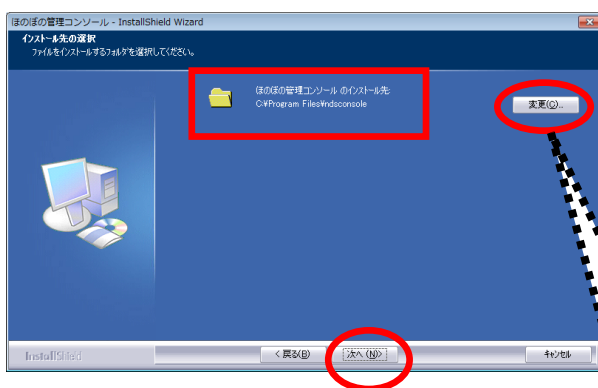


- 14) ほのぼの管理コンソールのインストールを行います。ウェルカム画面が表示されます。**次へ** ボタンをクリックします。



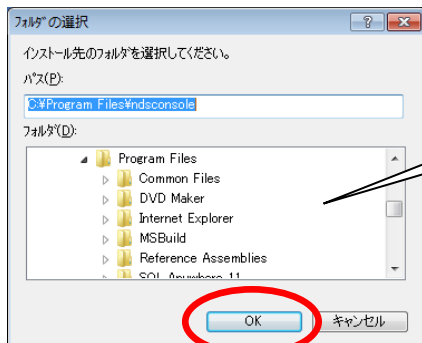
※ インストール形式に「アプリケーションのみ」を選択した場合は、ほのぼの管理コンソールのインストールは行われません。

- 15) 必要に応じてインストール先を設定します。
インストール先を変更する場合は、**変更** ボタンをクリックしてフォルダを選択します。
インストール先を確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



次頁枠囲み参照

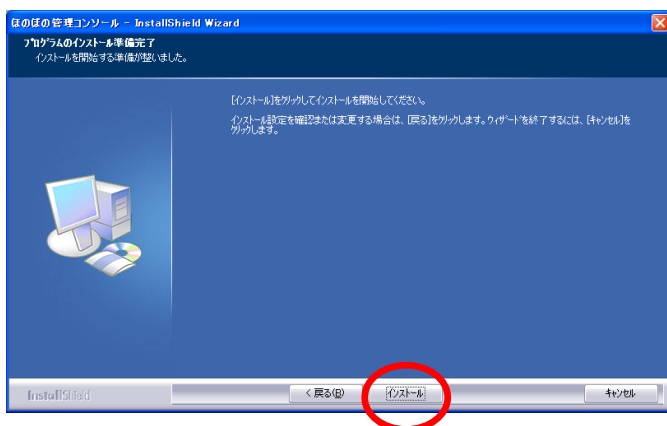
変更 をクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。
インストール先のフォルダを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
変更後は前画面に戻ります。



インストールしたい
フォルダを選択

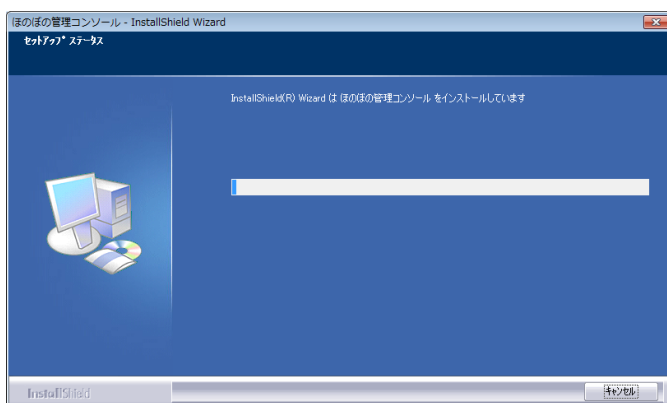
※ 選択したフォルダの名称が「ndsconsole」でない場合、自動的に選択したフォルダの中に「ndsconsole」フォルダが作成されます。

- 16) インストール準備完了画面で、**インストール** ボタンをクリックし、インストールを開始します。



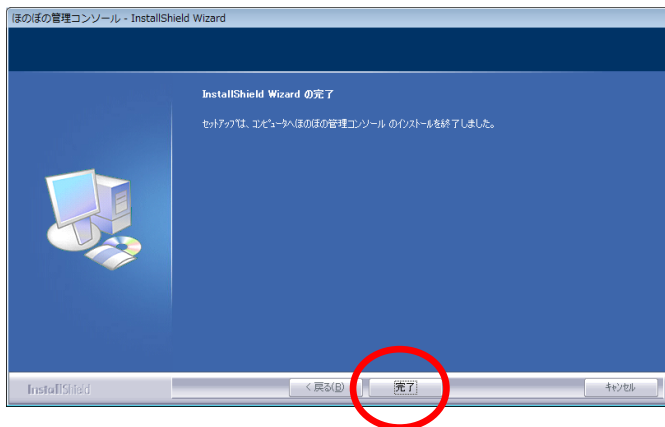
※ インストールが開始されると、この画面に戻ることができなくなりますのでご注意ください。

- 17) インストール実行中の画面が表示されます。インストール実行中は自動的に処理が行われますので、しばらくお待ちください。

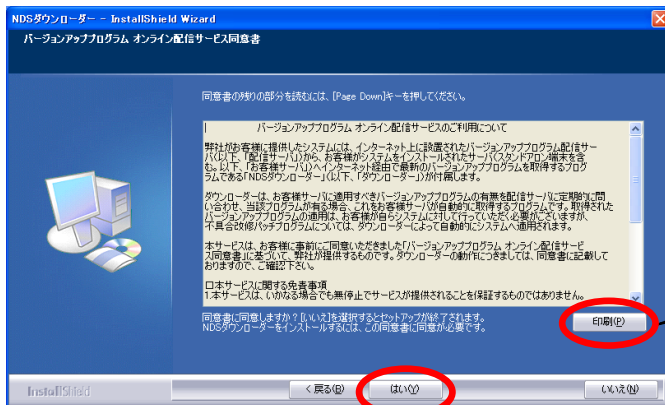


- 18) インストール処理が完了するとインストール完了画面が表示されます。

完了 をクリックし、ほのぼの管理コンソールのインストール作業を終了します。



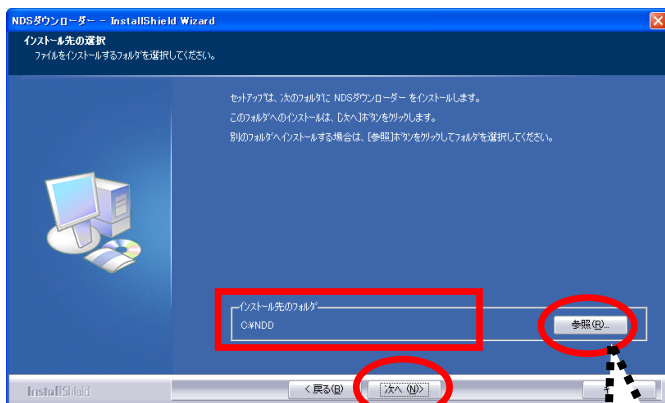
- 19) ダウンローダーのインストールを行います。同意書を確認いただき同意いただける場合は、**はい** ボタンをクリックします。



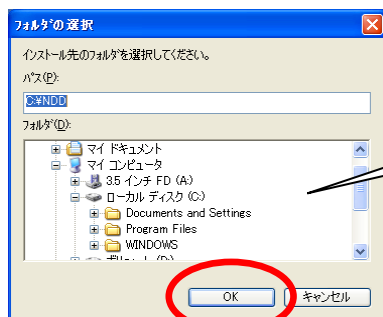
- 20) ダウンローダのインストールを行います。必要に応じてインストール先を設定します。

インストール先を変更する場合は、**変更** ボタンをクリックしてフォルダを選択します。

インストール先を確認し、**インストール** ボタンをクリックします。

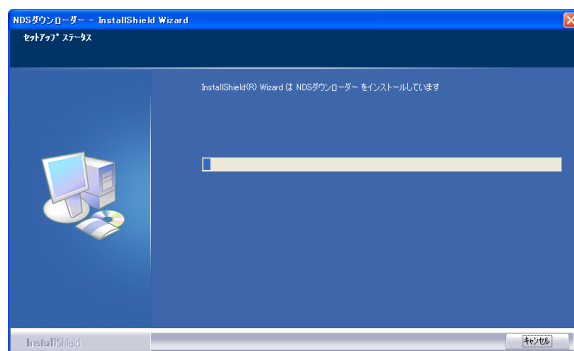


変更 をクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。
 インストール先のフォルダを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
 変更後は前画面に戻ります。



インストールしたい
フォルダを選択

- 21) インストール実行中の画面が表示されます。インストール実行中は自動的に処理が行われますので、しばらくお待ちください。



- 22) インストール処理が完了するとインストール完了画面が表示されます。
完了 ボタンをクリックし、インストール作業を終了します。



以上で、アプリケーションのリモートデスクトップサーバーへのインストールは完了しました。

- ※ インストール操作後は、必ずパソコンを再起動してください。
- ※ アプリケーションを起動する前に「10. ライセンスキーの設定 (p. 37)」、「11. NDSダウンロードの設定 (p. 39)」を行ってください。

9. Adobe Reader のインストール

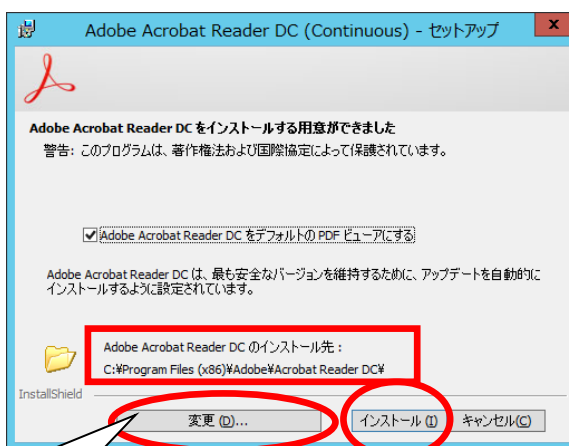
本システムでは Adobe Reader を使用します。Adobe Reader がインストールされていない環境ではインストールの実行を確認する画面が表示され、” インストールする ” を選択した場合、各インストールプログラムの実行中に、Adobe Reader のインストールプログラムが実行されます。下記の手順に沿ってインストールを行ってください。

- 1) Adobe Reader のインストールプログラムの展開が行われますので、そのまましばらくお待ちください。



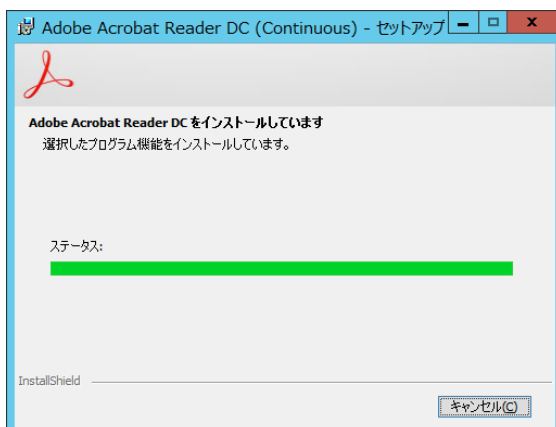
インストール先の指定画面が表示されます。必要であれば**変更** ボタンをクリックしインストール先の指定を行ってください。

インストール先を確認し**インストール** ボタンをクリックします。

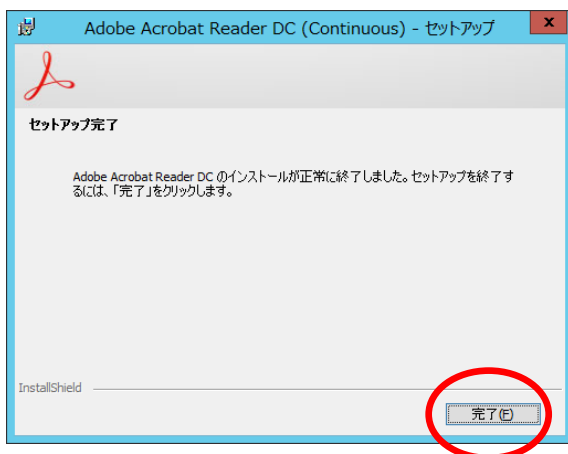


インストール先を変更
する場合にクリック

- 2) インストール実行中は自動的に処理が行われますので、しばらくお待ちください。



- 3) インストール処理が全て完了すると、次の画面が表示されます。**完了** ボタンをクリックすると、Adobe Reader のインストールを終了します。



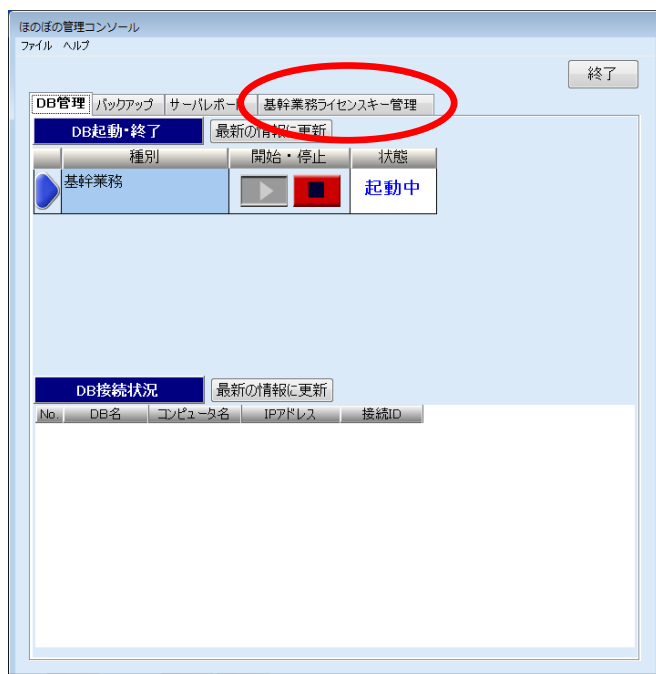
10. ライセンスキーの設定

データベースを含むインストール後は、アプリケーションを実行する前に下記の操作を行ってください。

- 1) デスクトップに登録されたショートカットから”ほのぼの管理コンソール”を実行します。



- 2) ほのぼの管理コンソールが起動したら、“ライセンスキー管理”タブを選択します。



- 3) ライセンスキー欄に納品のご案内に記載されているライセンスキーを入力します。入力が完了したら、**登録** ボタンをクリックしてください。

ほのぼの管理コンソール
ファイル ヘルプ

DB管理 バックアップ サポート 基幹業務ライセンスキー管理

ライセンスキー登録 ライセンスキー削除

ライセンスキー 登録

ライセンス情報 最新の情報に更新 クライアントライセンス数: 0

システム名	ライセンス期限
-------	---------

※ 複数のライセンスキーが発行されている場合、すべてのライセンスキーを入力してください。

- 4) ライセンス情報一覧に購入したライセンスが表示されれば完了です。**終了** ボタンをクリックしてほのぼの管理コンソールを終了します。

ほのぼの管理コンソール
ファイル ヘルプ

DB管理 バックアップ サポート 基幹業務ライセンスキー管理

ライセンスキー登録 ライセンスキー削除

ライセンスキー 登録

ライセンス情報 最新の情報に更新 クライアントライセンス数: 11

システム名	ライセンス期限
ほのぼの基本	2016/07/31
人事管理 使用権/パック	2016/07/31
給与管理 使用権/パック	2016/07/31
給与管理 給与遡及差額(オプション) 使用権/パック	2016/07/31
給与管理 給与連動(オプション) 使用権/パック	2016/07/31

11. NDS ダウンローダーの設定

NDS ダウンローダーは、本システムの最新を取得するソフトウェアです。本システムを常に最新の状態でご利用いただくために NDS ダウンローダーの設定を行います。

※NDS ダウンローダーをご利用になるためには、インターネット接続環境が必要となります。また、弊社から送付させていただいております【施設 ID 証明書】に記載されている施設 ID をソフトウェアに登録する必要があります。

NDS ダウンローダーの設定方法に関しては、インストールイメージ内に格納されている以下のファイル(PDF 形式)をご参照ください。

インストールイメージ内 [v_note] → [バージョンアップ説明資料]
ファイル名： NDS ダウンローダー設定方法.pdf

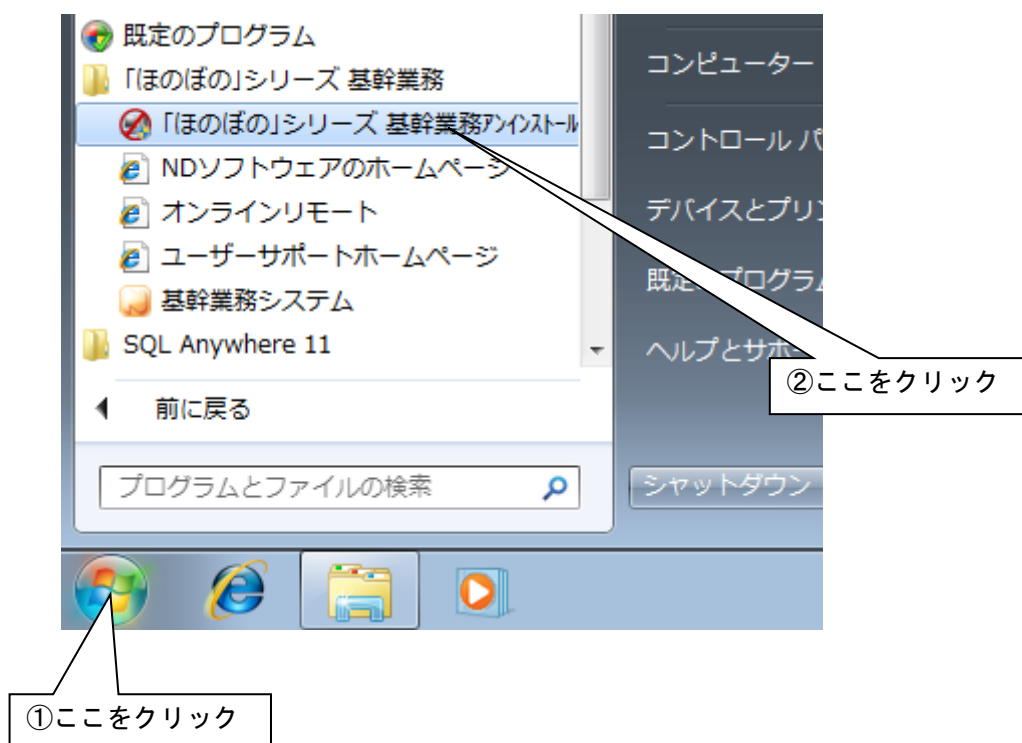
12. アンインストール

アンインストールする場合は以下の手順で行ってください。

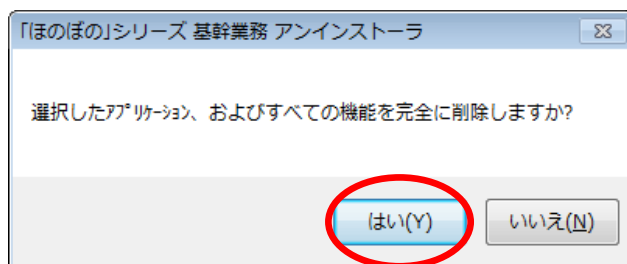
この操作は完全にアンインストールしますので必要な場合以外は操作しないでください。

このアンインストール手順以外でのアンインストールは絶対に行わないでください。

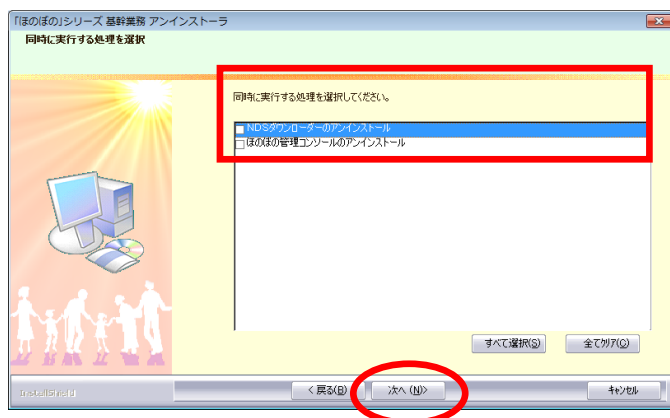
- 1) スタートメニューから「アンインストール」を起動します。



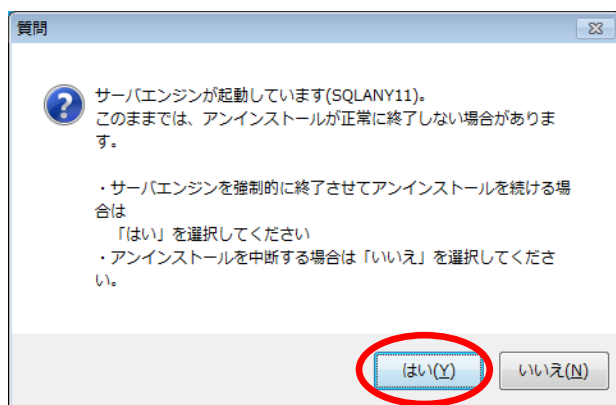
- 2) 確認画面が表示されます。削除を実行して問題ないことを確認のうえ、**はい** ボタンをクリックします。



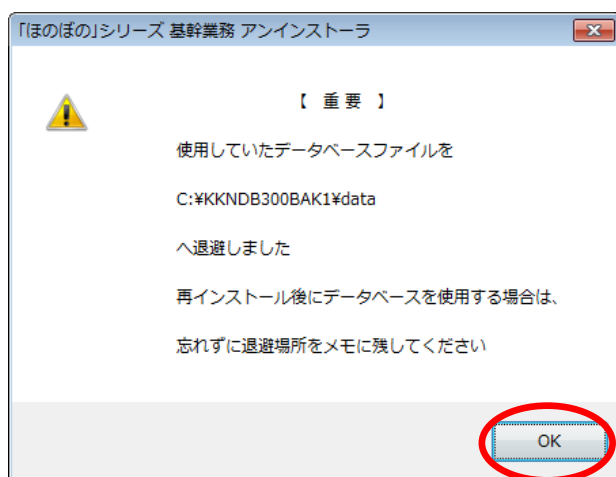
- 3) 同時に実行するアンインストール処理を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



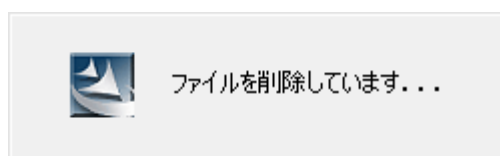
- 4) データベースが起動中だった場合、停止するか確認します。
続行する場合は**はい** ボタンをクリックしてください。



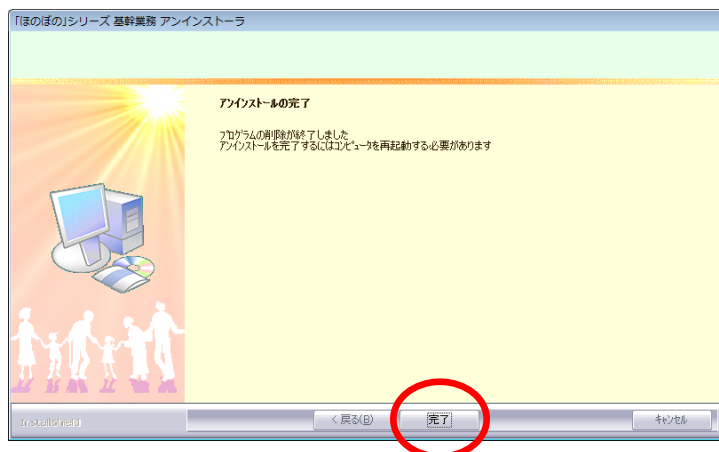
- 5) データベースファイルの退避先が表示されます。
確認して **OK** ボタンをクリックしてください。



- 6) アンインストール処理は全て自動で行われますので、しばらくお待ちください。



- 7) アンインストールの完了画面が表示されます。
完了 ボタンをクリックするとアンインストール作業を終了します。

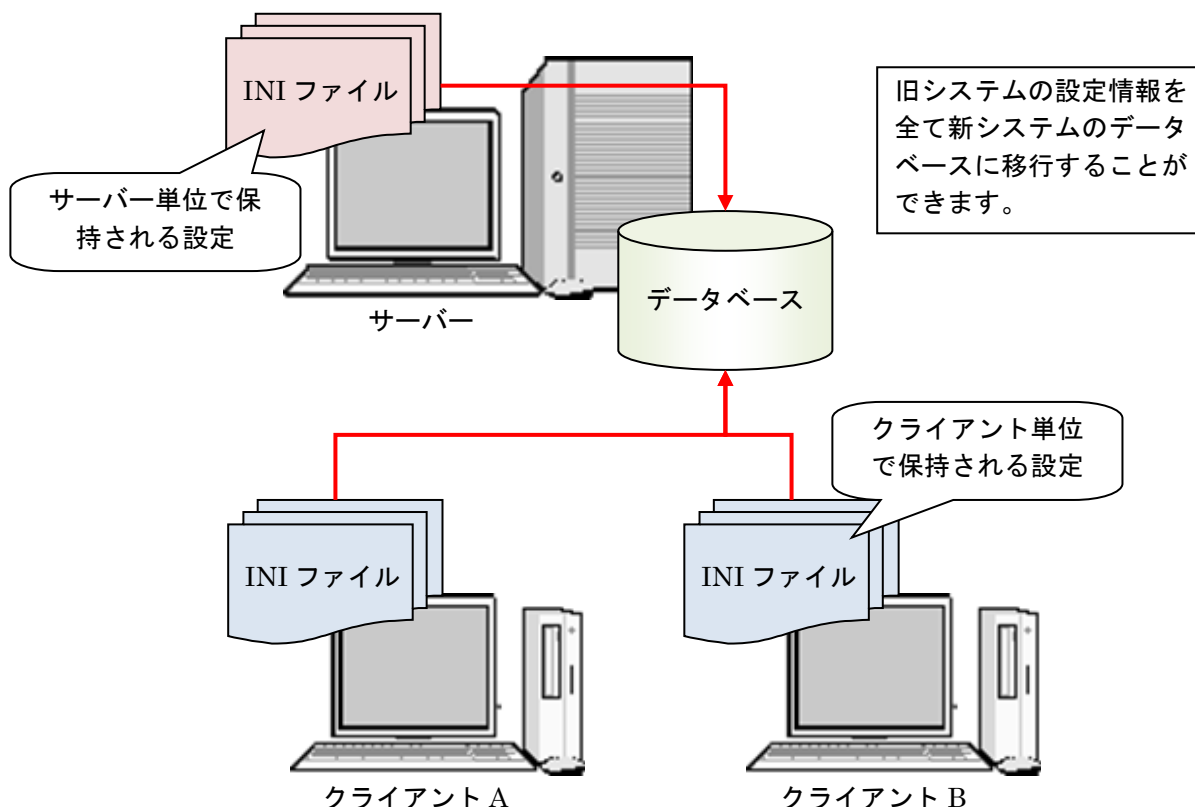


以上で、アンインストールが完了しました。

※ アンインストール操作後は、必ずパソコンを再起動してください。

13. 財務会計システムをインストールする場合の補足

本システムでは、帳票の余白など旧システムにおいて INI ファイルによって管理されていた設定情報は全てデータベースで管理されることになります。そのため、本システムには旧システムがマシンごと（かつマシンのユーザーごと）に保存している設定情報（INI ファイル）を移行する仕組みが備わっています。



設定情報には、システムごとサーバー単位で保持されるものとクライアント（マシンおよびユーザー）単位で保持されるものがありますが、それぞれ次の通りとなります。

●サーバー単位で保持される設定情報

プログラムフォルダ配下の INI ファイルで管理される情報

（例） C:\¥WINNDSAP¥ZIM500¥zim500.ini など

●クライアント（マシンおよびユーザー）単位で保持される設定情報

Windows フォルダ（UAC が OFF の場合）、または各ユーザーごとのフォルダ（UAC が ON の場合）配下の INI ファイルで管理される情報。

（例. UAC が OFF の場合） C:\¥Windows¥zim500.ini など

（例. UAC が ON の場合） -Windows7 の時-

C:\¥Users¥HonobonoUser¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows¥zim500.ini など

設定情報の移行については、次のような前提条件があります。

【条件 1】 設定情報を移行するマシンには新旧の両システムがインストールされている必要があります。

本システムは、旧システムのインストールを判断して設定情報を移行しようとするので、設定情報を移行するマシンに新旧の両システムがインストールされている必要があります。

※本システム導入に合わせてマシン環境を変更される場合でも、設定情報の移行が必要な場合には旧システム環境に本システムをインストールしてこの条件を満たすようにしてください。

【条件 2】 設定情報の移行はマシンごとに行う必要があります。

設定情報の移行は、そのマシンが保持するファイルのみを処理します（他のマシンが保持している設定情報は移行できません）ので、旧システムを運用していた全マシンで作業することになります。

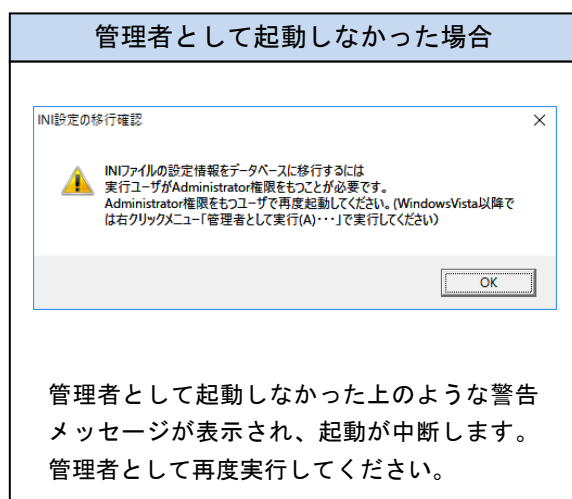
※リモートデスクトップサービス環境の場合は、全てのアプリケーションサーバー（DBサーバ共用含む）で作業が必要となります。

〔 設定情報の移行方法 〕

1) 管理者としてシステムを起動します（設定情報の移行は起動時に行われます）。



当該マシンの全ユーザーが保持する設定情報を一度に移行するため「管理者として実行」が必要です。なお、「管理者として実行」が必要なのはマシンごと1回限りです。その後は通常の方法（アイコンを直接ダブルクリック）で起動することができます。



- 2) システム情報移行設定画面が表示されます。当該マシンから検索された旧システム全ての設定情報が集計されます。「アカウント名」と「財務 Ver.5 の INI ファイル格納フォルダ」の組み合わせが正しいことを確認してください。「アカウント名」を更新、または「新規」ボタンから新しい行を作成することで任意の組み合わせで移行することができます。

システム情報移行設定画面

ホスト名: _____

新規 **削除**

移行	OSアカウント		財務Ver.5のINIファイル格納フォルダ	
	アカウント名	システム設定情報		
☐	Administrator	あり	☐	C:\Users¥ ¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows
☐		あり	☐	C:\Windows
☐		なし	☐	C:\Users¥ ¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows
☐		なし	☐	C:\Users¥ ¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows
☐		なし	☐	C:\Users¥ ¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows

移行先のOSアカウントにシステム情報が既に存在する(「システム設定情報」列が[あり])の場合、上書きされます。
 本機能はセキュリティ設定の[システム保守]から表示されるシステム設定保守画面の「財務Ver.5環境から設定再取得」ボタンをクリックすることで、再度実行することが可能です。

移行先のOSアカウントがドメインユーザアカウントの場合、「アカウント名」列に[ユーザ名.ドメイン名]の形で表示されますが、[ドメイン名]の部分は削除してください。

実行 **キャンセル**

- 3) **実行** ボタンをクリックします。

システム情報移行設定画面

ホスト名: _____

新規 **削除**

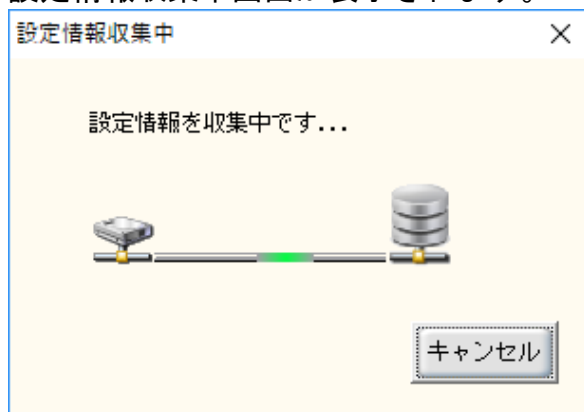
移行	OSアカウント		財務Ver.5のINIファイル格納フォルダ	
	アカウント名	システム設定情報		
☐	Administrator	あり	☐	C:\Users¥ ¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows
☐		あり	☐	C:\Windows
☐		なし	☐	C:\Users¥ ¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows
☐		なし	☐	C:\Users¥ ¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows
☐		なし	☐	C:\Users¥ ¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows

移行先のOSアカウントにシステム情報が既に存在する(「システム設定情報」列が[あり])の場合、上書きされます。
 本機能はセキュリティ設定の[システム保守]から表示されるシステム設定保守画面の「財務Ver.5環境から設定再取得」ボタンをクリックすることで、再度実行することが可能です。

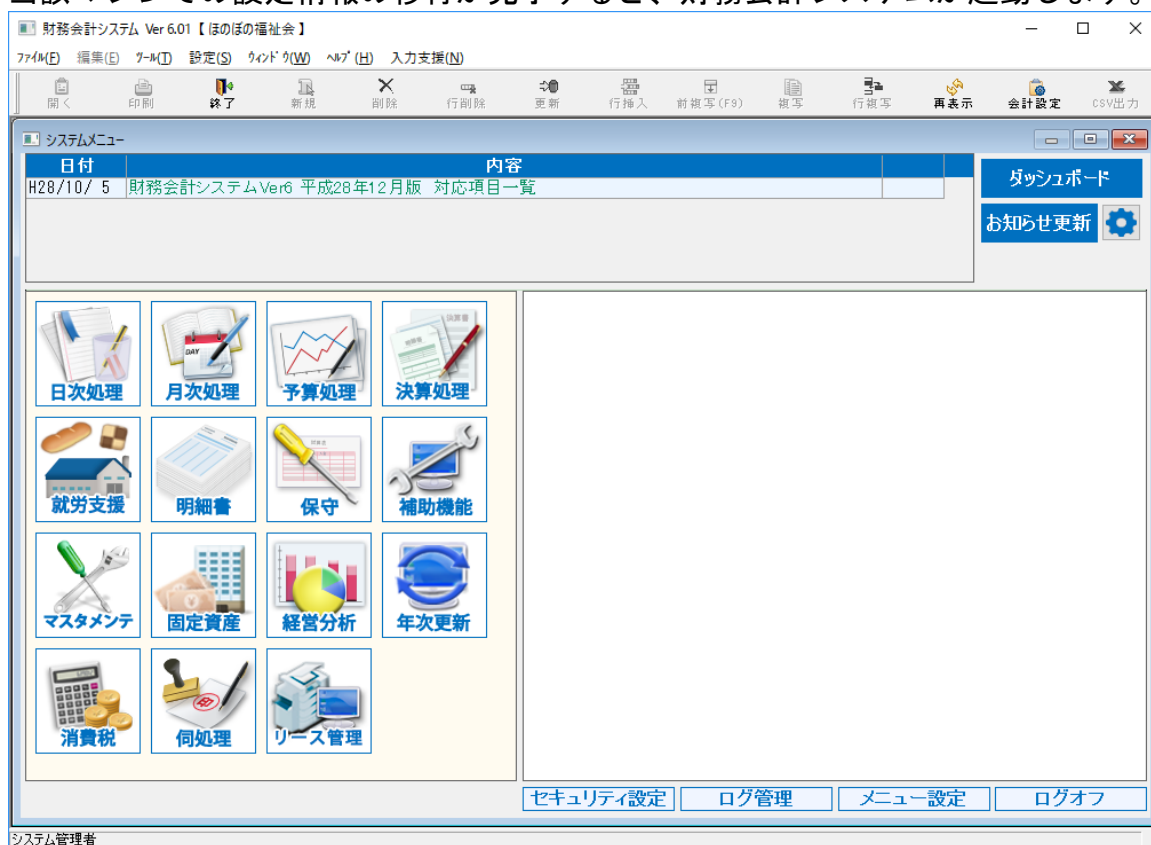
移行先のOSアカウントがドメインユーザアカウントの場合、「アカウント名」列に[ユーザ名.ドメイン名]の形で表示されますが、[ドメイン名]の部分は削除してください。

実行 **キャンセル**

- 4) 設定情報収集中画面が表示されます。



- 5) 当該マシンでの設定情報の移行が完了すると、財務会計システムが起動します。



[設定情報の移行結果の確認]

- 1) システム管理者でシステムにログインします。

ユーザー認証

基幹業務システム
Version

「ほのぼの」シリーズ
基幹業務システム
システムを選択
人事給与 財務会計

ID・パスワードを入力して
確定ボタンを押して下さい

ID: 1
パスワード: ● ?

確定 閉じる

- 2) ログ管理画面を表示します。

財務会計システム Ver 6.01 【ほのぼの福祉会】

ファイル(F) 編集(E) ツール(T) 設定(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) 入力支援(N)

開く 印刷 終了 新規 削除 行削除 更新 行挿入 前表示(F8) 複写 行複写 再表示 会計設定 CSV出力

システムメニュー

日付	内容
H28/10/ 5	財務会計システム Ver6 平成28年12月版 対応項目一覧

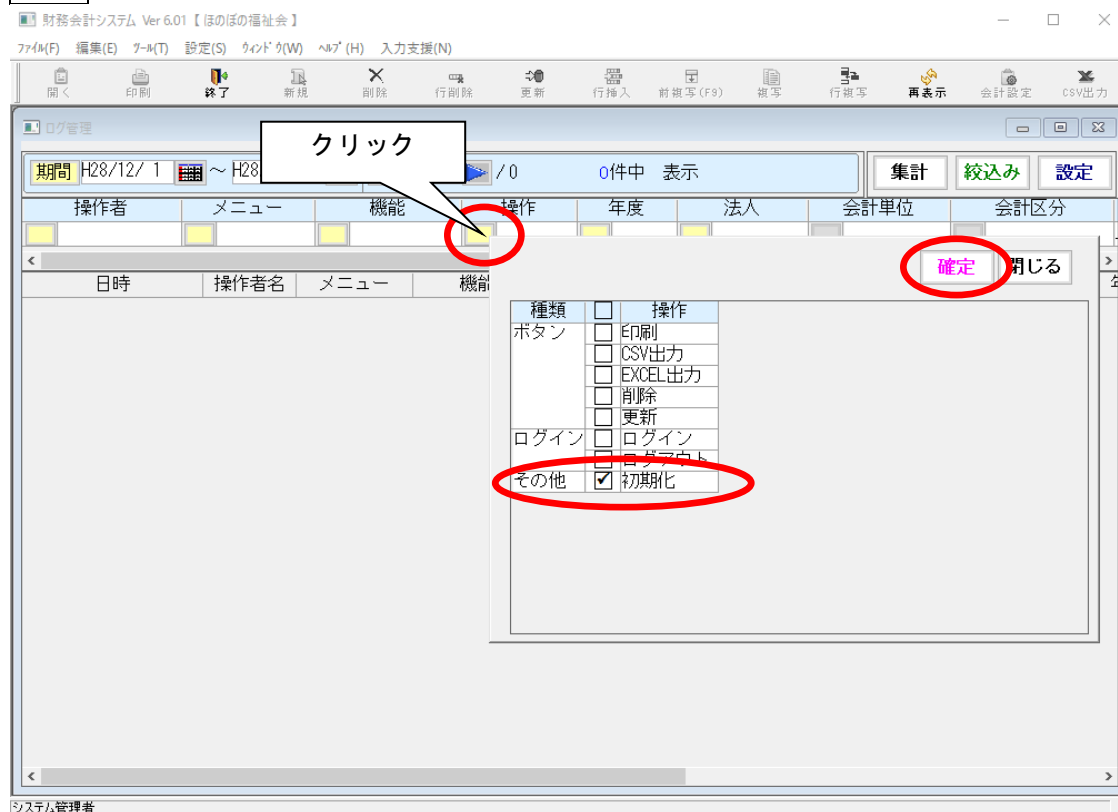
ダッシュボード お知らせ更新

日次処理 月次処理 予算処理 決算処理
 就労支援 明細書 保守 補助機能
 マスタメンテ 固定資産 経営分析 年次更新
 消費税 伺処理 リース管理

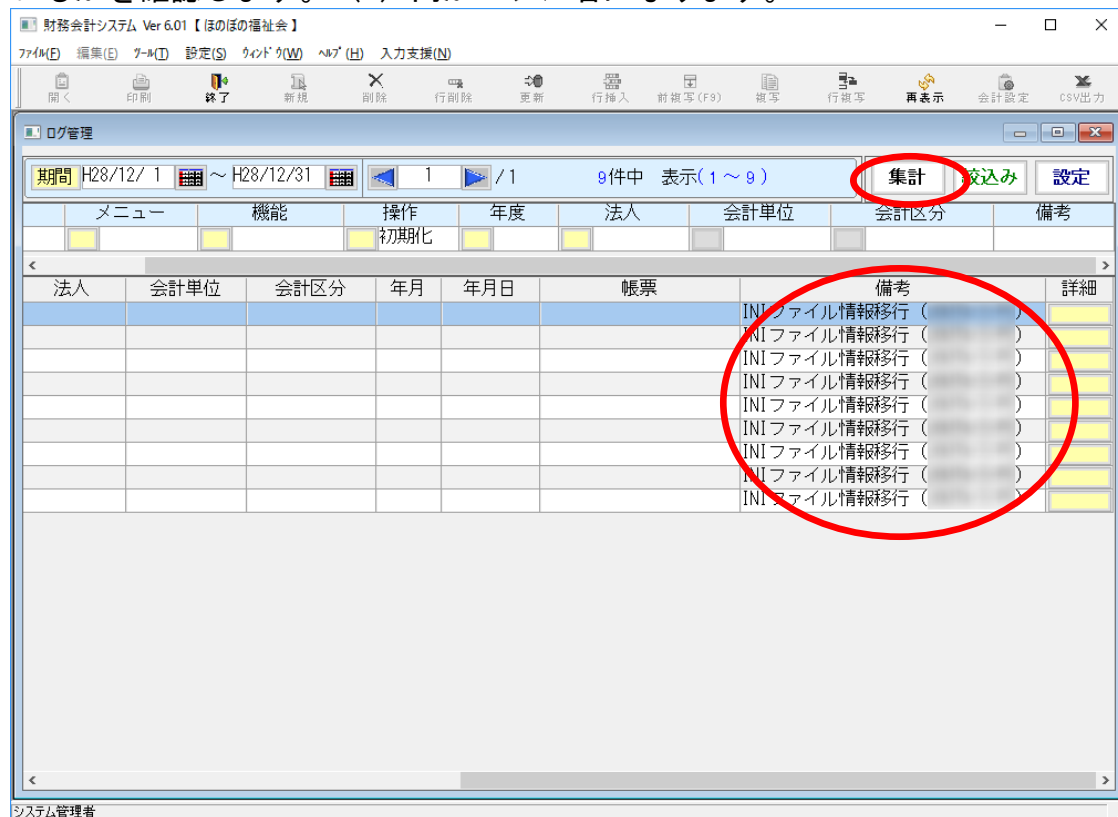
セキュリティ設定 **ログ管理** メニュー設定 ログオフ

システム管理者

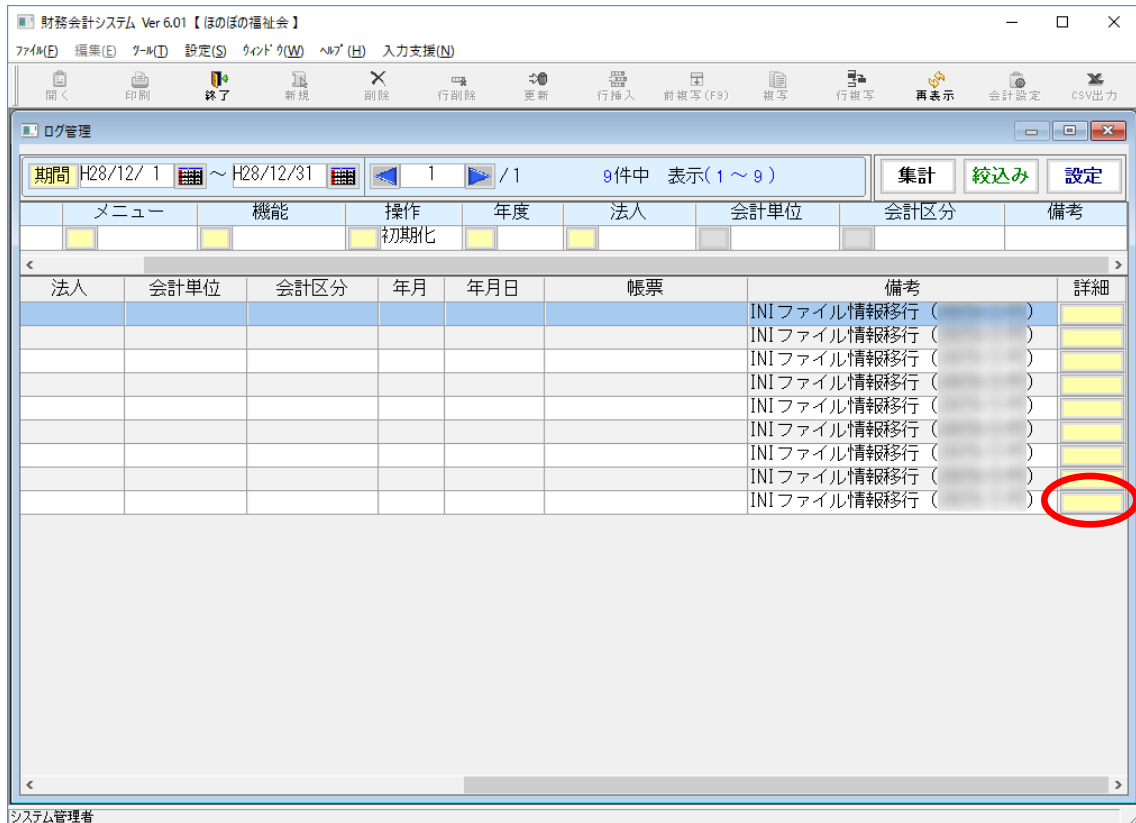
- 3) 「操作」の黄色ボタンをクリックして集計条件（その他 - 初期化）を指定し、**確定** ボタンをクリックします。



- 4) **集計** ボタンをクリックします。
設定情報の移行結果が集計されますので「備考欄」でそのマシンの移行が済んでいるかを確認します。（ ）内がマシン名になります。

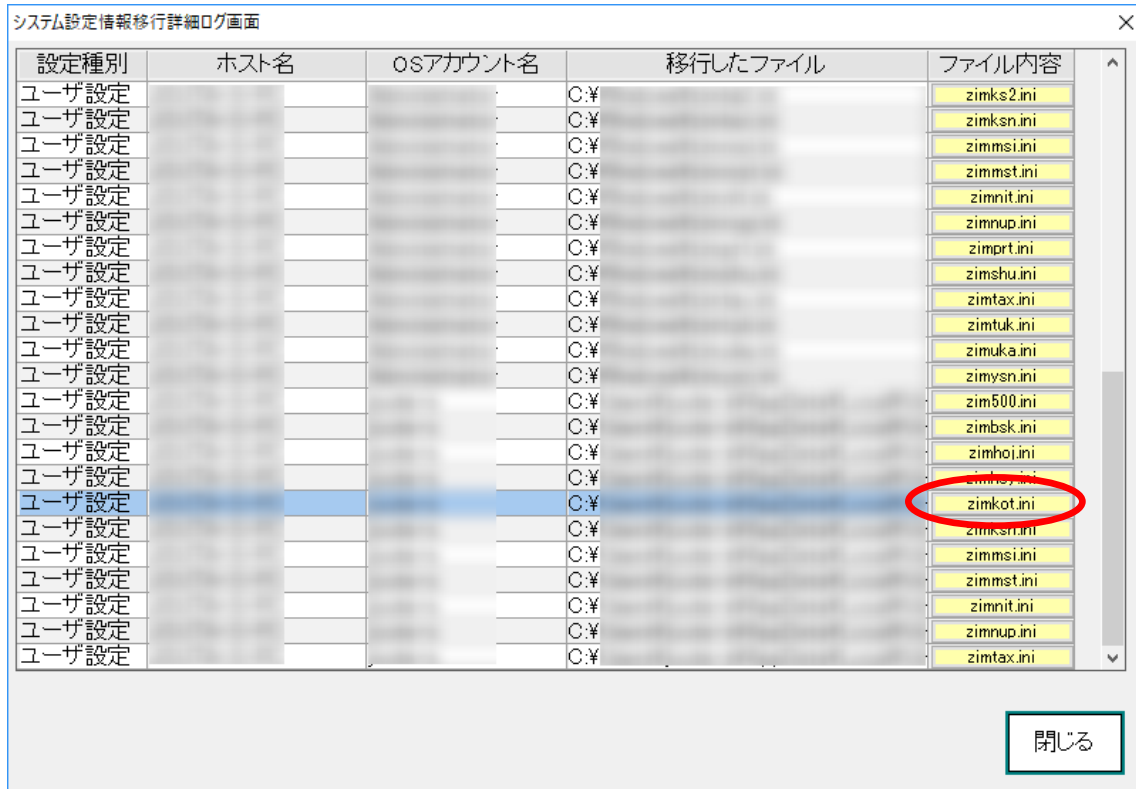


5) 「詳細」の黄色ボタンをクリックします。



6) システム設定情報移行詳細ログ画面が表示されます。

移行を行った「ホスト名」「OS アカウント名」と「移行した INI ファイル」の組み合わせが確認できます。ファイル内容の黄色ボタンをクリックします。



- 7) ファイル内容確認画面が表示されます。移行した INI ファイルの内容が確認できます。



「ほのぼの」シリーズ 基幹業務

インストール手順書

2011 年 7 月 初 版

2021 年 3 月 第 10 版



発行者 ND ソフトウェア株式会社

URL <http://www.ndsoft.jp/>

(C) 2016 NDS Software CO., LTD. All rights reserved.

本書に記載されている他社の登録商標・商標はじめ、会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。尚、本文はじめ図表中では、登録商標マークは明記していません。本書で掲載している画面のデータは架空のデータです。また、実際のシステムの画面と一部異なる場合があります。

本書の内容は、改良のため予告なしに変更する場合があります。